

愛媛県シニア向けツアーニーズ調査
結果報告書

令和4年9月
愛媛県

目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	1
2. 調査の設計.....	1
(1) 一般高齢者.....	1
(2) 県内旅行会社.....	1
(3) 県内宿泊施設.....	1
3. 報告書の見方.....	2
第2章 調査の総括.....	3
第3章 調査結果.....	8
1. 一般高齢者.....	8
2. 県内旅行会社.....	31
3. 県内宿泊施設.....	40

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

第35回全国健康福祉祭えひめ大会（ねんりんピック愛顔のえひめ2023）を契機としたシニア層の社会参加と誘客促進を図るため、魅力あるツアーの造成に向けた基礎資料とするため。

2. 調査の設計

（1）一般高齢者

調査対象	国内在住の65歳以上の男女1,000名
調査方法	WEBによる調査（モニター調査）
回収数	1,145件
調査期間	令和4年7月26日から令和4年7月27日まで

（2）県内旅行会社

調査対象	愛媛県内に事業所を有する第1種～第3種、地域限定旅行業許可取得事業者
調査方法	郵送による発送、WEBによる回収
発送数及び回収数	発送数 94件 回収数 26件（回収率27.7%）
調査期間	令和4年8月19日から令和4年9月5日

（3）県内宿泊施設

調査対象	愛媛県旅館ホテル生活衛生同業組合加盟施設
調査方法	郵送による発送、WEBによる回収
発送数及び回収数	発送数 225件 回収数 47件（回収率20.9%）
調査期間	令和4年8月19日から令和4年9月5日

3. 報告書の見方

- 基数となるべき実数は、(n=〇〇) と表示し、各比率は、すべてを 100%として百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出しました。そのために、百分率の合計が 100%にならないことがあります。
- 質問文の中に、複数回答が可能な質問がありますが、その場合、回答の合計は、調査数を上回ることがあります。
- 図中の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している場合があります。

第2章 調査の総括

高齢者の84.0%は観光旅行に興味あり

観光を目的とする旅行に「大変興味がある」と回答した高齢者は36.2%であり、「ある程度興味がある」と回答した高齢者の割合を合わせると、高齢者の84.0%が観光旅行に興味を有していることが分かった。また、観光旅行に興味を有する高齢者の割合は、男女とも、前期高齢者よりも後期高齢者の方がその割合が高い。(問1)

「夫婦」で観光旅行したい高齢者が多いが、後期高齢女性は異なる傾向

過半数(56.1%)が夫婦で旅行したいと考えているが、性差が大きく、男性によりその傾向が大きい。男性の夫婦での旅行を希望する人の割合は61.3%であるものの、女性は37.8%に留まる。男性の後期高齢者はより夫婦での旅行を希望する人の割合が増加するものの、女性は男性と異なり減少することが特徴的である。この背景として、男性に比べ女性の方が寿命が長く、年齢階層が高くなるに従って配偶者と死別したり、配偶者が入院等したりすることで夫婦で旅行できなくなることが考えられる。

女性は男性に比べて「家族」「友人」と観光旅行したいと回答した人の割合が高く、後期高齢女性はその傾向が著しい。このことから、「高齢者夫婦」の他、「主に女性からなる友人グループ」へのニーズが比較的多いことがうかがえる。特に、後期高齢女性の観光旅行に行きたいというニーズが、配偶者の死別等によって十分にくみ取れていない可能性を踏まえ、それらの層へアプローチできる商品の開発などが考えられる。

なお、「団体」での旅行を希望する人は0.7%に過ぎず、ほとんどニーズが存在しないことが分かる。(問2)

旅行で気になるポイントは「旅のスタイル」によって傾向がみられる

旅行にあたって気になる点については、全体としては「宿泊施設の快適さ」(45.8%)、「費用」(43.5%)、「余裕のある行程」(40.9%)、「施設の清潔さ」(37.2%)、「手荷物をもつての移動」(30.9%)などとなっているが、旅行のスタイルによってその内容は大きく異なる。(問3)

① 単独旅行者：「費用」、「現地の混雑状況」

単独の旅行を好む高齢者は「費用」(43.9%)と回答した人の割合が最も高くなっており、リーズナブルに気ままな旅を楽しみたいと考えていることがうかがえる。また、「現地の混雑状況」が

4位(29.0%)に挙がっていることも他の属性と比べて目を引く。単独旅行者は、静かな環境をより好む傾向が見て取れる。

② 夫婦・家族：「宿泊施設の快適さ」

「夫婦」又は「家族」での旅行を好む層は、「宿泊施設の快適さ」を重視し、その傾向は「夫婦」(46.6%)よりも「家族」(52.3%)の方がより強いことが分かる。子どもや孫と一緒に旅行する機会が多いことを踏まえれば、納得できる結果とも言える。

③ 友人：「余裕のある行程」

「友人」との旅行を好む層は、「余裕のある行程」(45.5%)が最も多く挙げられている。複数の友人グループと行動を共にするために、行程をアテンドする人物がいない場合は特にスケジュールが押しすぎてしまいがちであり、そういった経験からの意見であることが推察される。従って、ツアー商品は友人グループ向けによりニーズがある可能性があるといえる。

高齢旅行者のニーズは「非日常体験」よりも「こころの洗濯」

どのような観光スタイルに興味があるかと尋ねたところ、属性に寄らず、概ね、「温泉地などでゆっくり過ごしたい」(72.6%)、「乗り物などに乗ってゆっくり風景を楽しみたい(遊覧船、観光列車、ドライブなど)」(58.5%)、「地域の歴史・文化施設を見学したい(城郭、社寺、歴史的建造物、博物館など)」(49.8%)、「郷土料理や地酒などを満喫したい」(46.4%)、「歩きながら風景などを楽しみたい(トレッキング、ハイキング、お遍路など)」(21.8%)などが挙げられた。

第1位に挙げられた「温泉地などでゆっくり過ごしたい」とのニーズは、観光地巡りなどのアクティビティよりも穏やかに過ごせる空間をより好んでいるのだと解釈すると、観光地の魅力というよりは、ホテルや旅館の中で快適に過ごせる環境こそがニーズに沿っていると考えられる。従って、温泉の存在が必須要件であるとは限らないとも考えられる。(問4)

「ゆっくり過ごしたい」という高齢旅行者のニーズは、問9でたずねた「観光を目的とする旅行に行った際、観光地や宿泊地の施設やサービスで困ったことはありますか」という設問の回答で、第1位が「混雑等によりゆっくり観光できなかった」(21.8%)、第2位は「行程が詰まっている・移動距離が長いなどで疲れた」(21.2%)となっていることからもうかがえる。(問9)

また、問13で尋ねた、観光旅行に求めるものとして、「ストレス発散・気分転換」(51.2%)、「癒し」(50.8%)、「非日常感」(47.4%)が上位に挙げられており、「新しい出会いや発見」(18.9%)との回答をした人が比較的少ないことから分かる通り、高齢者が訪れる旅行地を選択する際の要素として「その土地にしか無いもの」の重要性は比較的低いことが推察される。それよりも、その土地や宿泊地を訪れることによってリラックスできて「こころの洗濯」ができる方が高齢旅行者にとってより重要であることが調査結果から示唆される。(問13)

単独旅行者は、郷土料理や地酒をひとりで愉しみたい

単独旅行を好む層は他の属性と異なる興味がうかがえ、「郷土料理や地酒などを満喫したい」（44.5%）が第2位に挙げられている。単独旅行を好むのは男性に多いという調査結果と併せて考えると、男性に好まれる、たとえば「地酒と酒菜」などを一人旅向けの宿泊プランに加えたり、ホテルや旅館周辺の飲食店のうち、単独旅行者でも歓迎される店舗を紹介したり、飲み歩きマップ等を単独旅行者向けプラン限定で配布したりするなどの様々な取組が考えられる。遠方からの旅行者は郷土料理に関する知識に乏しいことが多いため、おすすめの郷土料理や地酒、お土産等の情報を併せて情報提供するとなお良いと考えられる。（問4）

問11では愛媛県で食べたい料理・食材として「郷土料理（鯛めし、焼き豚卵子飯、じゃこ天、今治焼き鳥など）」が56.4%で第1位となっていることから、郷土料理に関する情報は、旅行者、特に単独旅行者にとって大きな魅力となると考えられる。（問11）

「団体ツアーバス」にも一定の需要

観光旅行には「鉄道（新幹線含む）」（63.1%）、「自家用車」（39.0%）、「航空機」（36.2%）が多いが、たとえば北海道地方では80.0%が「航空機」と回答するなど、居住地と目的地の組み合わせによって最適な交通手段を選択するものと考えられる。

意外にも、「団体ツアーバス」（26.7%）と回答した人の割合が多いが、これは会社やサークル等の団体がバスを貸し切りにする旧来の団体旅行を想定しているのではなく、旅行会社が募集するツアーに不特定の客が乗り合わせる形態をイメージしているものと考えられる。公共交通機関やツアーバスに乗ることで気ままに旅をするスタイルにも大きな支持を集めている。（問7）

この傾向は、問8で尋ねた、行程や宿泊施設、サポート体制等について配慮されたシニア層向けの観光を目的とする旅行商品に対する支持の高さからもうかがえる。シニア層向けの旅行商品を支持する割合は75.0%にもものぼり、「男性の後期高齢者」（83.2%）、「夫婦」（79.7%）のニーズが特に高い。旅行に関する様々な煩わしさから開放され、純粋に旅行そのものを楽しみたい、のんびり過ごしたいとの高齢者特有のニーズがその背景にあると考えられることから、商品開発に当たっては訴求対象者のプロファイリングに沿った検討をすることでよりニーズに沿ったサービスが提供できると考えられる。（問8）

また、「自家用車」と回答した人も39.0%と無視できない程高い割合となっている。従前であれば、前期・後期高齢者を問わず、疲労の蓄積や事故のリスクを抱える自家用車での旅行は敬遠されがちだったと考えられるが、コロナ禍ということもあり、3密を避け、ドアトゥードアで旅行を楽しもうと考えている高齢者が一定数選択したものと考えられる。

さらに、レンタカーのみを回答した割合は全体の0.6%に過ぎず、その半数以上が東京在住者となっている。レンタカーと回答した人の多くは航空機とレンタカー、鉄道とレンタカー、旅客船とレンタカーといったように、他の交通手段と組み合わせて旅行することを想定しており、ツアーを検討する上で重要な視点となることが考えられる。

本県の魅力をコンパクトに巡る複数のプランを提案すべき

ホテルや旅館でのんびり過ごすだけというスタイルは欧米のリゾートでは一般的な旅行の楽しみ方として浸透しているものの、調査結果からは、「1か所でゆっくりと過ごしたい」(15.0%)よりも、「余裕のある行程で少数の観光地を巡りたい」(55.5%)との意見が圧倒している。「無理のない日程で複数の観光地を巡りたい」(28.0%)、「可能な限り多くの観光地を巡りたい」(1.4%)との回答は少数意見であることから、せっかく旅行するのであれば宿泊地の他に厳選された観光地を巡りたいとのニーズがあると考えられる。

本県には圧倒的な知名度を誇る「道後温泉」や「奥道後温泉」をはじめ、城跡（松山城、今治城、宇和島城、大洲城）や神社仏閣（大山祇神社、石手寺、石鎚神社）、しまなみ海道、博物館など多数の観光地を有している。この中から、宿泊地最寄りの観光地を周遊するモデルプランを地域別に作成することで、旅行計画を立案する際にイメージしやすくすることが効果的であると考えられる。その際に留意すべきは、「混雑していない観光地である」「あまり多くの観光地をモデルプランに盛り込みすぎない」「宿泊地から遠方の観光地をモデルプランに組み込むことでタイトなスケジュールにならないようにする」ことである。たとえば知名度の高い「道後温泉」を組み込みたいが宿泊地から遠方である場合はその他の観光地を大胆に割愛するなどの工夫が考えられる。(問6)

高齢者が好む媒体を通じた情報発信をすべき

旅行先の情報は属性に関わらず「旅行サイト」から収集する人が63.4%と圧倒的であり、インターネット経由の発信が非常に重要であることが分かる。ただし、「WEB 広告・ダイレクトメール」(18.0%)、「SNS (twitter,LINE,facebook,Instagram など)」(4.5%)と回答した人の割合が比較的低いことを踏まえると、若年層向けの媒体（Instagram や TikTok を含む）よりも、旅行記等のブログや観光地の公式 WEB サイトなどの情報の方がより好まれるのではと推察される。(問12)

これは、問15で尋ねた、「観光を目的とした旅行について、普段どの程度WEBを活用していますか」との回答結果として、「自分がWEBで旅行申込みをしている」(55.6%)、「観光サイトや個人ブログなどで情報を集めている」(23.1%)との回答が多いことから裏付けられる。(問15)

高齢者が考える旅行に充てる予算は十分

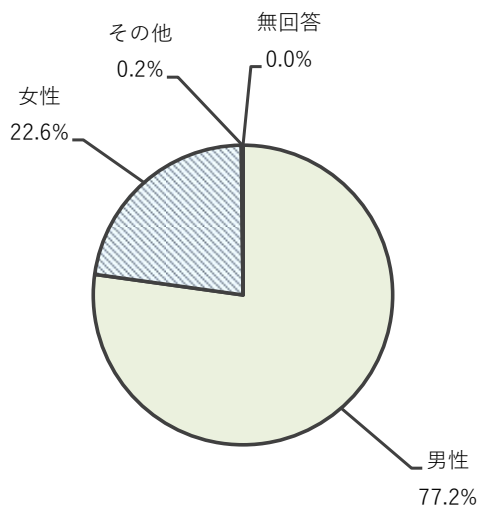
1回の旅行に対して、現地で一人あたりどのくらいお金を使うかとの質問に対しては、「2～5万円」(40.4%)との回答が多かった。この費用は渡航費を除き、現地での交通宿泊費、観光費、飲食代をあわせたものとの条件を付しているため、問5で明らかになった2泊3日の標準モデル旅行期間を夫婦2人で旅する場合、1回の旅行あたり概ね4～10万円が予算であることが分かる。問4、問9、問13等の設問から、高齢旅行者はあまり多くの観光地を巡ることを好まないことから、この費用は概ね1泊2食付の宿泊費と考えることもできる。季節等によるものの、たとえば道後温泉に存在する多くの宿泊施設はこの予算の範囲内であり、調査結果を見る限りにおいては、現在の価格設定を大きく見直す必要性は無いと言える(訴求対象者の予算を大きく逸脱した価格設定がなされているとは言えない)。(問14)

第3章 調査結果

1. 一般高齢者

【回答者の属性】

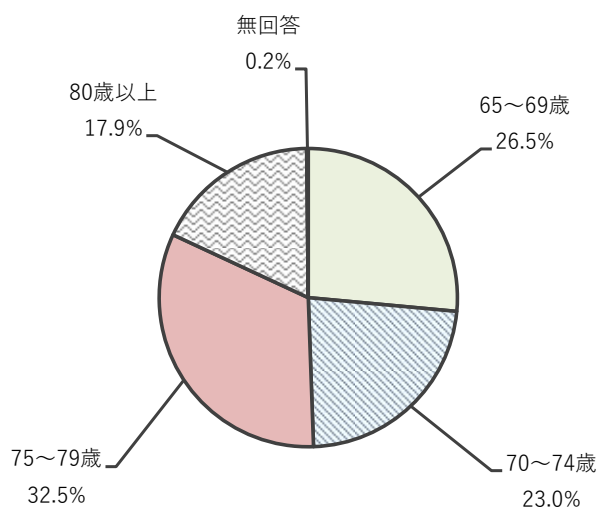
(性別)



(n=1,145)

●性別について、「男性」と回答した人の割合が最も高く、77.2%となっています。次いで、「女性」(22.6%)、「その他」(0.2%)と続いています。

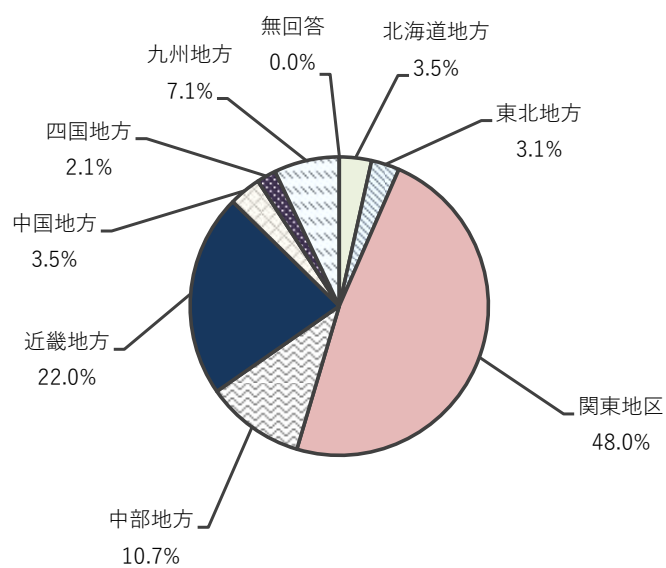
(年齢)



(n=1,145)

●年齢について、「75~79歳」と回答した人の割合が最も高く、32.5%となっています。次いで、「65~69歳」(26.5%)、「70~74歳」(23.0%)と続いています。

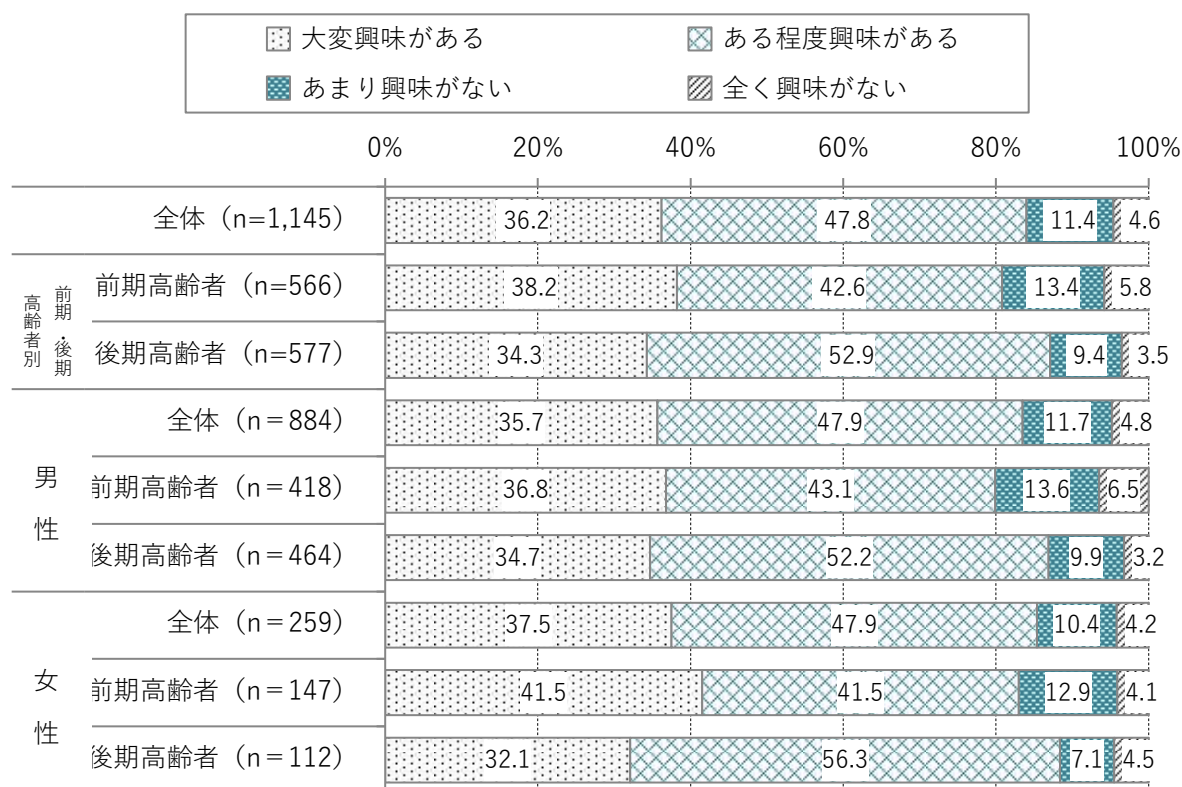
(居住地方)



(n=1,145)

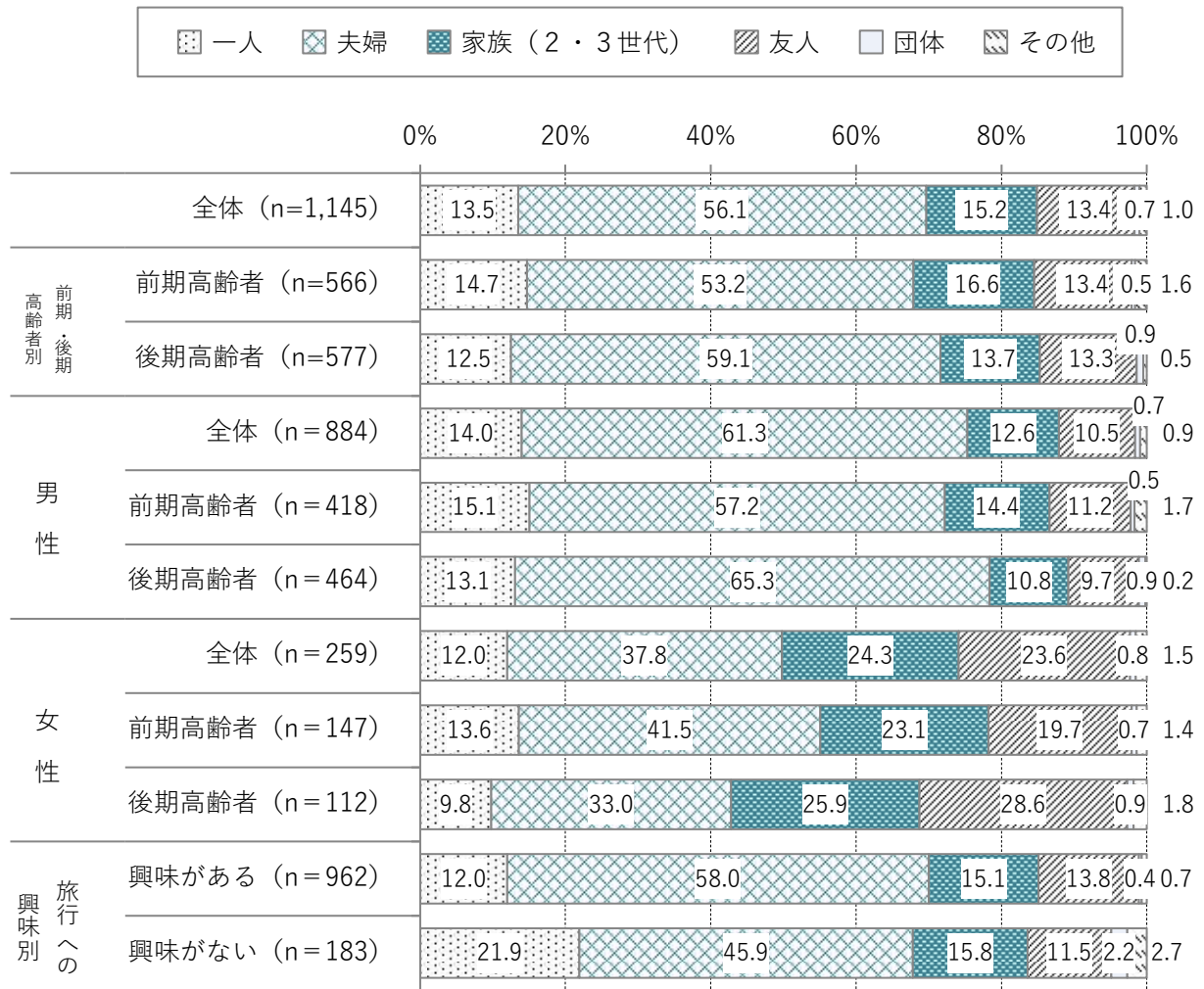
- 居住地方について、「関東地区」と回答した人の割合が最も高く、48.0%となっています。次いで、「近畿地方」(22.0%)、「中部地方」(10.7%)と続いています。

問1 観光を目的とする旅行に興味がありますか。(単数回答)



- 観光を目的とする旅行に興味があるかについて、「ある程度興味がある」と回答した人の割合が最も高く、47.8%となっています。次いで、「大変興味がある」(36.2%)、「あまり興味がない」(11.4%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、『興味がある』(「大変興味がある」と「ある程度興味がある」の和)と回答した割合は、後期高齢者の方が6.4ポイント高くなっています。
- 性別、前期・後期高齢者別にみると、『興味がある』と回答した割合は、女性の方が1.8ポイント高くなっており、男女いずれも後期高齢者の方が高くなっています。

問2 旅行に行くとするれば誰と行きたいですか。(単数回答)



※旅行への興味別の「興味がある」は「大変興味がある」と「ある程度興味がある」の和、「興味がない」は「あまり興味がない」と「全く興味がない」の和、以下同様。

- 旅行の希望同行者について、「夫婦」と回答した人の割合が最も高く、56.1%となっています。次いで、「家族 (2・3世代)」(15.2%)、「一人」(13.5%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「夫婦」と回答した割合は、後期高齢者の方が5.9ポイント高くなっています。
- 性別にみると、男女いずれも「夫婦」の割合が最も高くなっているものの、男性の割合(61.3%)は女性に比べて23.5ポイント高くなっています。一方で、女性は男性に比べて「家族 (2・3世代)」の割合(24.3%)が11.7ポイント、「友人」の割合(23.6%)が13.1ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性は後期高齢者の方が「夫婦」の割合が高くなっている一方、女性は後期高齢者の方が「夫婦」の割合は低くなっています。

問3 旅行するに当たって新型コロナウイルス感染症以外に不安な点、気になる点は何ですか。
 (旅行に行っていない方も行くことを想定して回答してください) (複数回答)

(%)	歩行距離	トイレ休憩	手荷物をもつての移動	乗換の多さ	添乗員の有無	食事の量・内容	施設の清潔さ	現地のトイレ状況	余裕のある行程	団体行動	
全体 (n=1,145)	22.1	28.6	30.9	30.7	15.5	26.1	37.2	27.2	40.9	16.6	
前期・後期高齢者別	前期高齢者 (n=566)	16.1	24.9	27.0	26.1	12.4	25.4	38.2	25.4	35.0	17.7
	後期高齢者 (n=577)	28.1	32.1	34.5	34.8	18.7	26.7	36.2	28.6	46.6	15.4
男性	全体 (n=884)	21.9	27.7	28.8	29.0	15.0	26.4	35.5	25.0	38.2	16.5
	前期高齢者 (n=418)	14.1	22.7	23.2	23.9	10.8	24.4	34.9	22.7	30.6	17.2
	後期高齢者 (n=464)	29.1	32.1	33.6	33.2	19.0	28.0	36.0	26.7	45.0	15.7
女性	全体 (n=259)	22.8	31.3	38.2	36.7	17.0	25.5	43.2	34.4	49.8	17.0
	前期高齢者 (n=147)	21.8	31.3	38.1	32.7	17.0	28.6	47.6	33.3	47.6	19.0
	後期高齢者 (n=112)	24.1	31.3	38.4	42.0	17.0	21.4	37.5	35.7	52.7	14.3
希望同行者別	一人 (n=155)	21.3	21.3	23.9	23.2	12.9	19.4	27.7	23.2	32.9	19.4
	夫婦 (n=642)	23.2	31.0	32.4	33.2	16.8	27.3	39.1	28.5	41.7	17.8
	家族 (2・3世代) (n=174)	18.4	24.7	31.0	28.7	13.2	29.3	42.5	24.7	40.2	12.6
	友人 (n=154)	22.1	31.2	31.8	30.5	14.9	24.0	33.8	28.6	45.5	13.6
	団体 (n=8)	25.0	12.5	25.0	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	62.5	12.5
	その他 (n=12)	25.0	25.0	33.3	33.3	8.3	33.3	41.7	33.3	33.3	16.7

(%)	現地の医療体制	家族や自身の体調	坂や段差の多さ	留守中の家族	現地の混雑状況	バリアフリー対応	土地勘のなさ	宿泊施設の快適さ	費用	特にな	
全体 (n=1,145)	16.6	27.5	23.1	4.9	28.0	7.6	6.4	45.8	43.5	10.4	
前期・後期高齢者別	前期高齢者 (n=566)	15.5	26.0	17.8	4.9	31.3	5.5	5.8	46.5	46.5	10.8
	後期高齢者 (n=577)	17.3	28.9	28.1	4.9	24.8	9.7	6.8	45.1	40.6	10.1
男性	全体 (n=884)	16.4	24.8	20.8	4.6	25.7	7.4	6.0	43.6	43.4	11.1
	前期高齢者 (n=418)	14.8	21.8	13.9	5.3	29.7	4.8	5.5	43.8	46.2	12.4
	後期高齢者 (n=464)	17.5	27.4	26.9	4.1	22.0	9.7	6.3	43.3	40.9	9.9
女性	全体 (n=259)	17.4	36.7	30.9	5.8	35.9	8.5	7.7	53.3	43.6	7.7
	前期高齢者 (n=147)	17.7	38.1	29.3	4.1	36.1	7.5	6.8	54.4	47.6	5.4
	後期高齢者 (n=112)	17.0	34.8	33.0	8.0	35.7	9.8	8.9	51.8	38.4	10.7
希望同行者別	一人 (n=155)	12.9	11.6	17.4	5.2	29.0	6.5	7.1	35.5	43.9	14.2
	夫婦 (n=642)	18.4	29.1	24.8	5.0	27.4	7.9	5.1	46.6	41.9	10.1
	家族 (2・3世代) (n=174)	15.5	37.9	21.8	4.6	31.6	8.0	10.3	52.3	44.8	10.3
	友人 (n=154)	14.9	25.3	25.3	3.9	24.7	7.1	7.1	44.8	45.5	6.5
	団体 (n=8)	0.0	25.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	37.5	75.0	0.0
	その他 (n=12)	16.7	25.0	8.3	16.7	33.3	8.3	0.0	58.3	58.3	33.3

- 旅行するに当たって新型コロナウイルス感染症以外に不安な点、気になる点について、「宿泊施設の快適さ」と回答した人の割合が最も高く、45.8%となっています。次いで、「費用」(43.5%)、「余裕のある行程」(40.9%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「歩行距離」、「トイレ休憩」、「手荷物をもつての移動」、「乗換の多さ」、「添乗員の有無」、「余裕のある行程」、「坂や段差の多さ」と回答した割合は、後期高齢者の方が5ポイント以上高くなっている一方、「現地の混雑状況」、「費用」と回答した割合は、前期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。

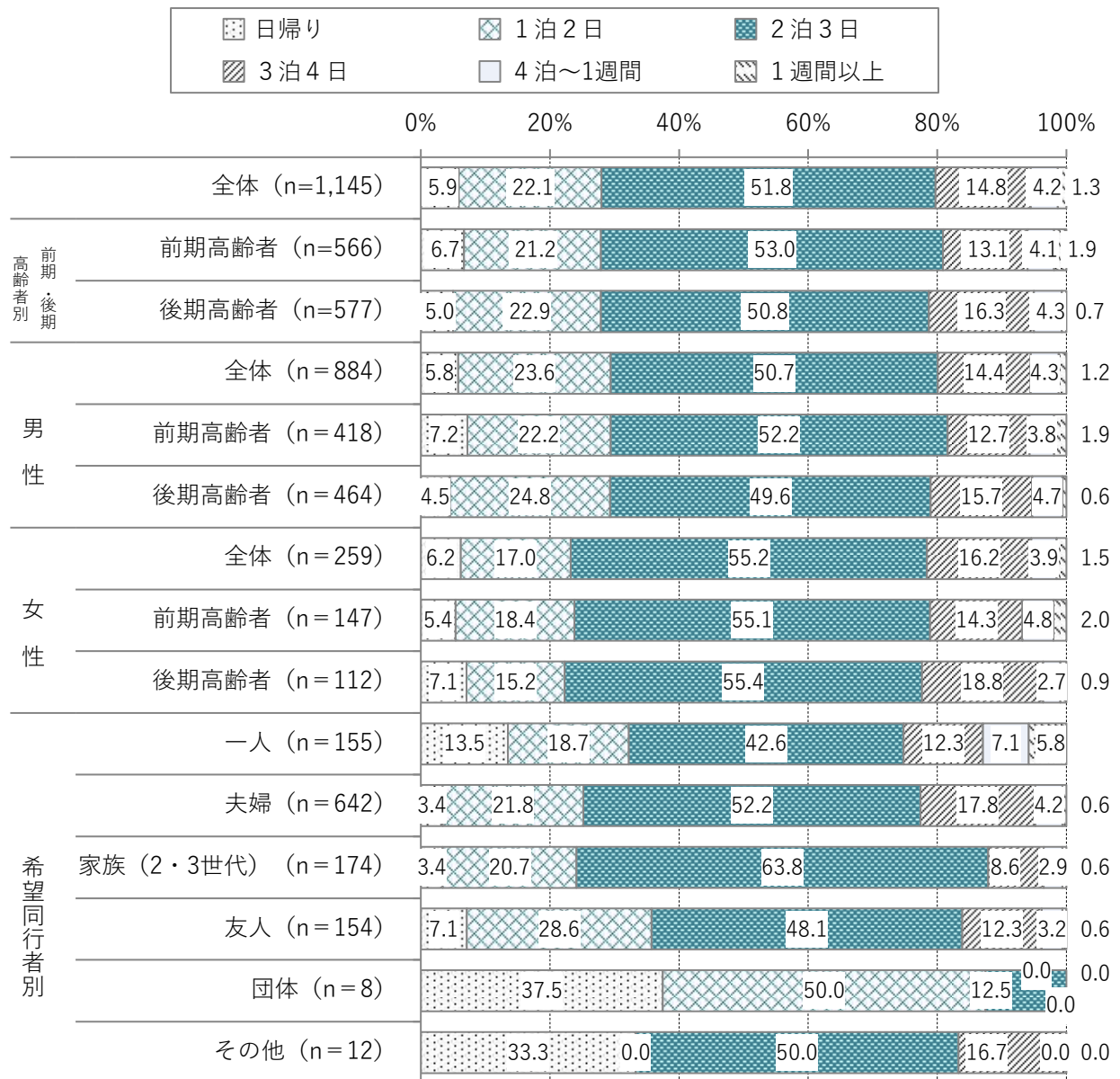
- 性別にみると、「余裕のある行程」、「家族や自身の体調」、「坂や段差の多さ」、「現地の混雑状況」と回答した割合は、女性の方が10ポイント以上高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「歩行距離」、「手荷物をもつての移動」、「余裕のある行程」、「坂や段差の多さ」の割合は後期高齢者の方が10ポイント以上高くなっています。女性では、「施設の清潔さ」の割合は前期高齢者の方が10ポイント以上高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人は「費用」、夫婦、家族（2・3世代）は「宿泊施設の快適さ」、友人は「余裕のある行程」、「費用」の割合が最も高くなっています。

問4 どのような観光スタイルに興味がありますか。(複数回答)

(%)	歩きながら風景などを楽しみたい(トレッキング、ハイキング、お遍路など)	乗り物などに乗ってゆっくり風景を楽しみたい(遊覧船、観光列車、ドライブなど)	アクティブタイプ(ギョー、サイクリングなど)	温泉地などでゆっくり過ごしたい	地域の文化を体験してみたい(伝統工芸、芸能、祭りなど)	地域の歴史・文化施設を見学したい(城郭、社寺、歴史的建造物、博物館など)	郷土料理や地酒などを満喫したい	地域の工芸品や食品などの土産物を買いたい	イベントなどで盛り上がりたいたい(フェスタ、コンサート、スポーツ観戦など)	観光に興味がない
全体 (n=1,145)	21.8	58.5	3.7	72.6	18.3	49.8	46.4	20.2	2.4	4.0
前期・後期高齢者別										
前期高齢者 (n=566)	24.6	54.2	4.4	69.1	19.4	50.5	46.6	18.7	3.2	4.6
後期高齢者 (n=577)	19.2	62.7	2.9	75.9	17.0	49.2	46.1	21.7	1.6	3.5
男性										
全体 (n=884)	22.1	59.7	3.7	74.2	17.2	47.2	47.1	18.2	2.3	4.3
前期高齢者 (n=418)	26.3	53.3	5.0	70.1	18.2	45.7	46.4	16.0	3.1	5.7
後期高齢者 (n=464)	18.3	65.5	2.6	77.8	16.2	48.7	47.6	20.3	1.5	3.0
女性										
全体 (n=259)	21.2	54.4	3.5	66.8	21.6	58.7	43.6	27.0	2.7	3.1
前期高齢者 (n=147)	19.7	57.1	2.7	66.0	22.4	64.6	46.9	26.5	3.4	1.4
後期高齢者 (n=112)	23.2	50.9	4.5	67.9	20.5	50.9	39.3	27.7	1.8	5.4
希望同行者別										
一人 (n=155)	27.7	43.9	2.6	51.6	12.9	41.9	44.5	11.0	1.3	6.5
夫婦 (n=642)	20.7	63.4	3.3	76.2	19.3	52.5	47.0	22.1	2.0	3.7
家族(2・3世代) (n=174)	20.7	59.8	6.9	78.2	18.4	50.0	48.9	20.7	3.4	1.7
友人 (n=154)	22.7	53.9	3.2	74.7	18.8	46.8	43.5	20.8	3.2	3.2
団体 (n=8)	37.5	25.0	0.0	50.0	25.0	75.0	25.0	12.5	0.0	0.0
その他 (n=12)	0.0	50.0	0.0	58.3	16.7	25.0	50.0	25.0	8.3	33.3
希望旅行期間別										
日帰り (n=67)	16.4	31.3	0.0	29.9	10.4	31.3	17.9	14.9	1.5	38.8
1泊2日 (n=253)	19.0	49.4	3.2	70.8	14.6	38.3	37.9	16.6	2.4	4.3
2泊3日 (n=593)	21.8	62.1	4.2	78.9	20.1	53.8	50.9	20.1	2.4	1.3
3泊4日 (n=169)	23.7	74.6	4.1	71.6	16.6	60.4	51.5	28.4	1.2	0.0
4泊～1週間 (n=48)	31.3	52.1	4.2	70.8	29.2	54.2	58.3	25.0	8.3	2.1
1週間以上 (n=15)	46.7	33.3	0.0	60.0	26.7	33.3	40.0	0.0	0.0	0.0

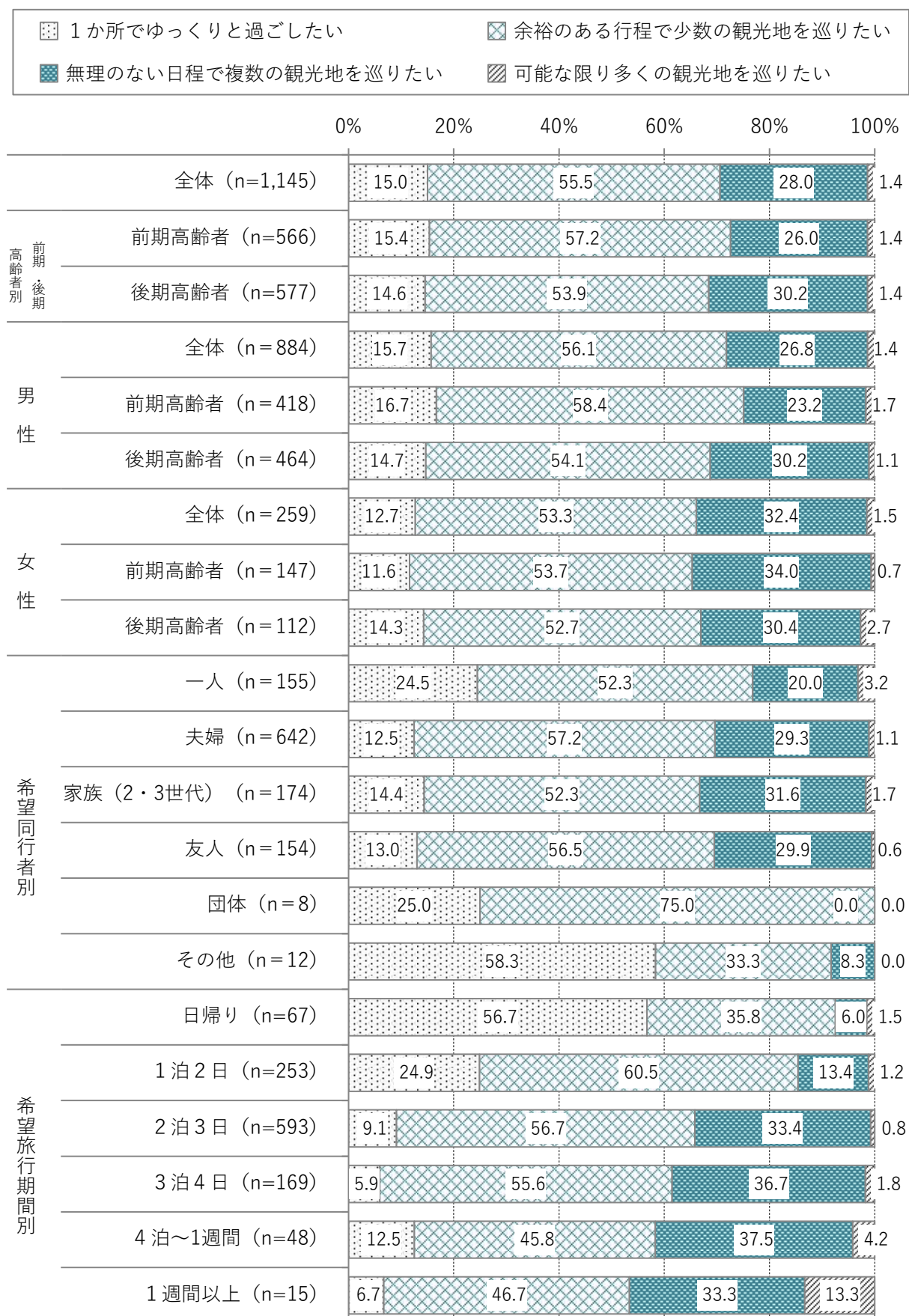
- 興味のある観光スタイルについて、「温泉地などでゆっくり過ごしたい」と回答した人の割合が最も高く、72.6%となっています。次いで、「乗り物などに乗ってゆっくり風景を楽しみたい(遊覧船、観光列車、ドライブなど)」(58.5%)、「地域の歴史・文化施設を見学したい(城郭、社寺、歴史的建造物、博物館など)」(49.8%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「乗り物などに乗ってゆっくり風景を楽しみたい(遊覧船、観光列車、ドライブなど)」、「温泉地などでゆっくり過ごしたい」と回答した割合は、後期高齢者の方が5ポイント以上高くなっている一方、「歩きながら風景などを楽しみたい(トレッキング、ハイキング、お遍路など)」と回答した割合は、前期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。
- 性別にみると、「地域の歴史・文化施設を見学したい」と回答した割合は、女性の方が11.5ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「乗り物などに乗ってゆっくり風景を楽しみたい」の割合は後期高齢者の方が12.2ポイント高くなっています。女性では、「地域の歴史・文化施設を見学したい」の割合は前期高齢者の方が13.7ポイント高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、夫婦、家族(2・3世代)、友人の全てで「温泉地などでゆっくり過ごしたい」の割合が最も高くなっています。
- 希望旅行期間別にみると、旅行期間が長くなるほど、「歩きながら風景などを楽しみたい(トレッキング、ハイキング、お遍路など)」の割合は、高くなる傾向にあります。3泊4日の「乗り物などに乗ってゆっくり風景を楽しみたい(遊覧船、観光列車、ドライブなど)」の割合は、その他の旅行期間に比べて高くなっています。

問5 観光を目的とする旅行に行くとしたらどの程度の行程がよいですか（単数回答）



- 希望する旅行の行程について、「2泊3日」と回答した人の割合が最も高く、51.8%となっています。次いで、「1泊2日」(22.1%)、「3泊4日」(14.8%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみても、大きな差はみられません。
- 性別にみると、「1泊2日」と回答した割合は男性の方が6.6ポイント高く、「2泊3日」と回答した割合は女性の方が4.5ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみても、大きな差は見られません。
- 希望同行者別にみると、一人、夫婦、家族(2・3世代)、友人の全てで「2泊3日」の割合が最も高くなっています。また、一人の「日帰り」の割合がその他の希望同行者に比べて高くなっています。

問6 観光を目的とする旅行に行く際、どのようなスケジュールで観光したいですか。
(単数回答)



- 希望の観光スケジュールについて、「余裕のある行程で少数の観光地を巡りたい」と回答した人の割合が最も高く、55.5%となっています。次いで、「無理のない日程で複数の観光地を巡りたい」(28.0%)、「1か所でゆっくりと過ごしたい」(15.0%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「無理のない日程で複数の観光地を巡りたい」と回答した割合は、後期高齢者の方が4.2ポイント高くなっている一方、「余裕のある行程で少数の観光地を巡りたい」と回答した割合は、前期高齢者の方が3.3ポイント高くなっています。
- 性別にみると、「無理のない日程で複数の観光地を巡りたい」と回答した割合は、女性の方が5.6ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「無理のない日程で複数の観光地を巡りたい」の割合は、後期高齢者の方が7.0ポイント高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、夫婦、家族(2・3世代)、友人の全てで「余裕のある行程で少数の観光地を巡りたい」の割合が最も高くなっています。また、一人の「1か所でゆっくりと過ごしたい」の割合がその他の希望同行者に比べて高くなっています。
- 希望旅行期間別にみると、旅行期間が長くなるほど、「余裕のある行程で少数の観光地を巡りたい」の割合は低くなる傾向にあります。

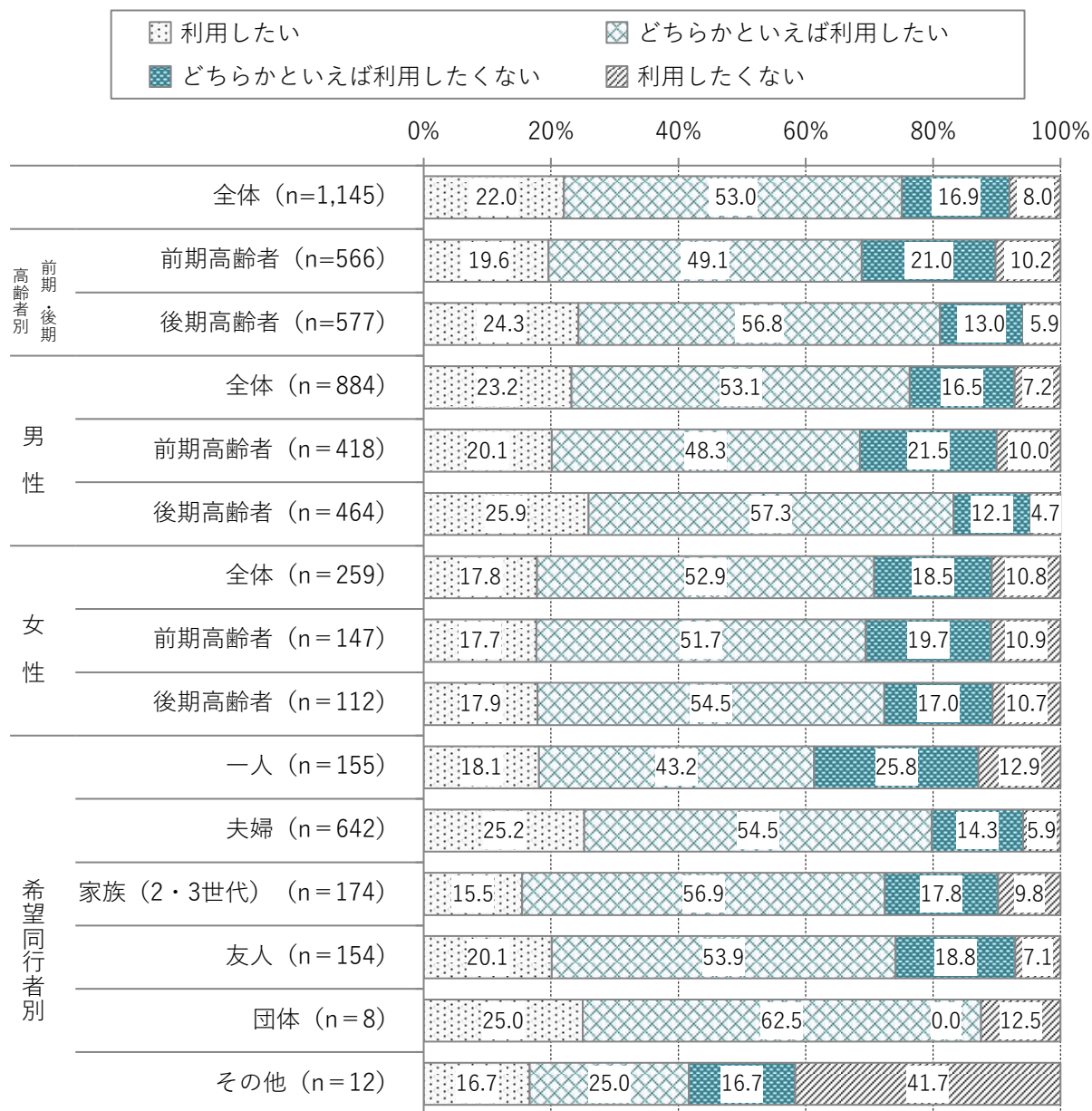
問7 観光を目的とする旅行に行くとするればどのような交通手段がよいですか。

(複数回答)

(%)		航空機	鉄道 (新幹線含む)	高速バス・夜行バス	旅客船	団体ツアーバス	貸切タクシー	レンタカー	自家用車	その他
全体 (n=1,145)		36.2	63.1	20.8	10.6	26.7	4.6	11.7	39.0	0.7
前期・後期高齢者別	前期高齢者 (n=566)	37.3	64.1	18.0	9.9	20.3	3.7	13.6	43.6	0.9
	後期高齢者 (n=577)	35.2	61.9	23.6	11.3	32.9	5.5	9.9	34.7	0.5
男性	全体 (n=884)	35.3	62.6	22.1	10.3	26.0	4.4	13.2	39.6	0.6
	前期高齢者 (n=418)	34.7	62.9	19.4	9.6	17.9	3.6	16.0	45.2	0.7
	後期高齢者 (n=464)	35.8	62.1	24.6	11.0	33.2	5.2	10.8	34.7	0.4
女性	全体 (n=259)	39.4	64.5	15.8	11.6	29.3	5.4	6.6	37.5	1.2
	前期高齢者 (n=147)	44.9	67.3	13.6	10.9	27.2	4.1	6.8	39.5	1.4
	後期高齢者 (n=112)	32.1	60.7	18.8	12.5	32.1	7.1	6.3	34.8	0.9
希望同行者別	一人 (n=155)	28.4	56.8	27.7	8.4	16.1	3.2	5.8	26.5	1.9
	夫婦 (n=642)	41.6	65.6	21.5	11.7	29.8	4.5	12.6	39.7	0.2
	家族 (2・3世代) (n=174)	31.6	59.2	14.4	8.0	19.0	4.0	13.8	59.2	0.0
	友人 (n=154)	27.9	64.3	18.2	10.4	33.1	7.1	11.0	30.5	0.6
	団体 (n=8)	25.0	25.0	12.5	0.0	62.5	12.5	12.5	12.5	0.0
	その他 (n=12)	33.3	75.0	25.0	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0	25.0

- 旅行に行く時の希望の交通手段について、「鉄道(新幹線含む)」と回答した人の割合が最も高く、63.1%となっています。次いで、「自家用車」(39.0%)、「航空機」(36.2%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「高速バス・夜行バス」、「団体ツアーバス」と回答した割合は、後期高齢者の方が5ポイント以上高くなっている一方、「自家用車」と回答した割合は、前期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。
- 性別にみると、男性の方が「高速バス・夜行バス」と回答した割合は6.3ポイント、「レンタカー」と回答した割合は6.6ポイント女性より高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「団体ツアーバス」の割合は後期高齢者の方が15.3ポイント高くなっている一方、「自家用車」の割合は前期高齢者の方が10.5ポイント高くなっています。また、女性では、「航空機」の割合は前期高齢者の方が12.8ポイント以上高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、夫婦、家族(2・3世代)、友人の全てで「鉄道(新幹線含む)」の割合が最も高くなっています。また、家族(2・3世代)の「自家用車」の割合が同率となっています。

問8 行程や宿泊施設、サポート体制等について配慮されたシニア層向けの観光を目的とする旅行商品があれば利用してみたいですか。(単数回答)



- シニア層向けの観光を目的とする旅行商品の利用ニーズについて、「どちらかといえば利用したい」と回答した人の割合が最も高く、53.0%となっています。次いで、「利用したい」(22.0%)、「どちらかといえば利用したくない」(16.9%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、『利用したい』(「利用したい」と「どちらかといえば利用したい」の和)と回答した割合は、後期高齢者の方が12.4ポイント高くなっています。
- 性別にみると、『利用したい』と回答した割合は、男性の方が5.6ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性の『利用したい』の割合は後期高齢者の方が14.8ポイント高くなっている一方、女性の『利用したい』の割合は後期高齢者の方が3.0ポイント高くなっている程度に留まっています。

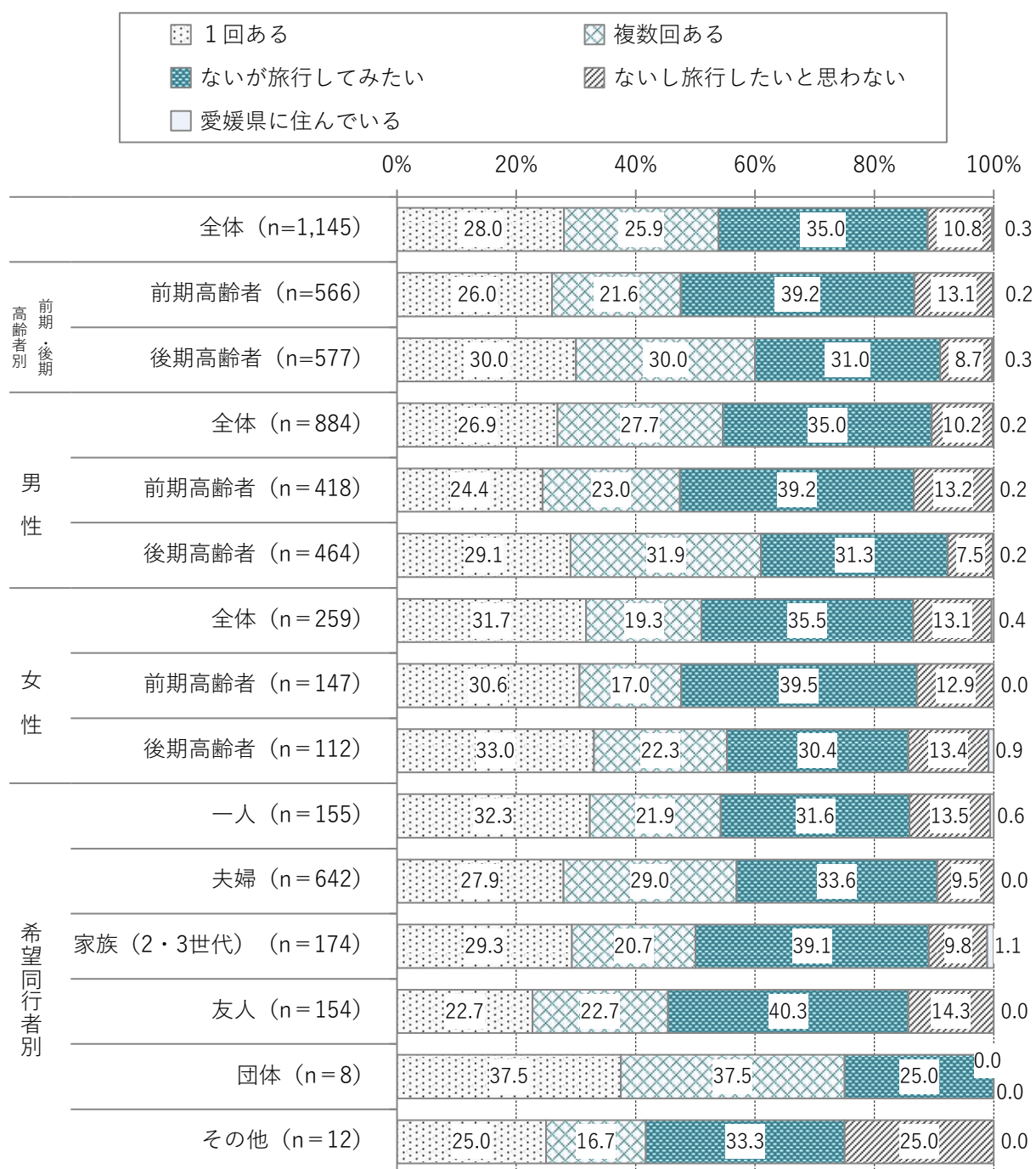
- 希望同行者別にみると、『利用したい』と回答した割合は、夫婦が最も高く 79.7%となっています。次いで、友人 (74.0%)、家族 (2・3世代) (72.4%)、一人 (61.3%) と続いています。

問9 観光を目的とする旅行に行った際、観光地や宿泊地の施設やサービスで困ったことはありますか。(複数回答)

(%)	て宿の設備が予想と異なっ	か食事の量や内容が合わな	た旅行先で急に体調を崩し	十分でなかったサービスが	バーニアフリーに対応して	道に迷った・案内図など	移動手段が不便だった	宿泊施設や観光地までの	た行程が詰まっている・移	混雑等によりゆっくり観光	特	その他
全体 (n=1,145)	14.5	18.1	5.1	12.6	3.6	7.6	14.3	21.2	21.8	45.9	0.7	
前期・後期高齢者別												
前期高齢者 (n=566)	13.1	17.3	4.8	10.6	2.3	6.9	10.2	18.2	21.7	48.6	0.7	
後期高齢者 (n=577)	15.9	18.5	5.2	14.6	4.9	8.3	18.4	24.3	21.8	43.5	0.7	
男性												
全体 (n=884)	15.8	18.0	4.4	13.9	3.6	8.1	14.5	20.4	22.6	44.3	0.8	
前期高齢者 (n=418)	14.4	17.2	3.6	11.7	2.4	7.2	8.6	16.0	21.5	47.8	1.0	
後期高齢者 (n=464)	17.2	18.3	5.0	15.9	4.7	9.1	19.8	24.4	23.5	41.4	0.6	
女性												
全体 (n=259)	10.0	18.5	7.3	7.7	3.5	5.8	13.9	24.3	18.9	51.4	0.4	
前期高齢者 (n=147)	9.5	17.7	8.2	7.5	2.0	6.1	15.0	24.5	22.4	50.3	0.0	
後期高齢者 (n=112)	10.7	19.6	6.3	8.0	5.4	5.4	12.5	24.1	14.3	52.7	0.9	
希望同行者別												
一人 (n=155)	7.7	12.9	6.5	9.0	4.5	10.3	12.9	14.8	17.4	59.4	0.0	
夫婦 (n=642)	16.7	19.3	5.1	14.6	3.1	7.0	15.1	23.4	24.0	42.1	0.8	
家族 (2・3世代) (n=174)	16.7	23.0	5.2	9.2	4.0	5.7	10.9	18.4	21.3	44.8	0.0	
友人 (n=154)	11.7	13.6	2.6	11.0	4.5	10.4	15.6	23.4	19.5	51.3	0.0	
団体 (n=8)	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0	25.0	12.5	12.5	37.5	0.0	
その他 (n=12)	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	8.3	33.3	25.0	

- 観光地や宿泊地の施設やサービスで困ったことについて、「混雑等によりゆっくり観光できなかった」と回答した人の割合が最も高く、21.8%となっています。次いで、「行程が詰まっている・移動距離が長いなどで疲れた」(21.2%)、「食事の量や内容が合わなかった」(18.1%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「宿泊施設や観光地までの移動手段が不便だった」、「行程が詰まっている・移動距離が長いなどで疲れた」と回答した割合は、後期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。
- 性別にみると、「特にない」と回答した割合は、女性の方が7.1ポイント高くなっています。一方、男性の「宿の設備が予想と異なっていた」の割合は5.8ポイント、「宿泊施設等のサービスが十分でなかった」の割合は6.2ポイント女性に比べて高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「宿泊施設や観光地までの移動手段が不便だった」の割合は、後期高齢者の方が11.2ポイント高くなっています。
- 希望同行者別にみると、観光地や宿泊地の施設やサービスで困ったことについて、一人、夫婦は「混雑等によりゆっくり観光できなかった」、家族(2・3世代)は「食事の量や内容が合わなかった」、友人は「行程が詰まっている・移動距離が長いなどで疲れた」の割合が最も高くなっています。

問 10 愛媛県を観光目的で旅行したことはありますか。(単数回答)



- 観光目的で愛媛県を旅行した経験の有無及び今後の来訪予定について、「ないが旅行してみたい」と回答した人の割合が最も高く、35.0%となっています。次いで、「1回ある」(28.0%)、「複数回ある」(25.9%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、『1回以上ある』(「1回ある」と「複数回ある」の和)と回答した割合は、後期高齢者の方が12.4ポイント高くなっています。
- 性別にみると、『1回以上ある』と回答した割合は、男性の方が3.6ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、「ないが旅行してみたい」の割合は、男女ともに前期高齢者の方が高くなっています。

- 希望同行者別にみると、家族（2・3世代）、友人の「ないが旅行してみたい」と回答した割合は、一人、夫婦に比べて高くなっています。

問 11 愛媛県で食べたい料理・食材は何ですか。(複数回答)

(%)	柑橘類 （みかん、 せとかなど）	ね和牛、伊予 麦酒、伊代 牛絹の味など	県産ブランド牛 （愛媛あか ら豚、内子豚など）	鶏 県産ブランド鶏 （媛っこ地 産）	ジビエ （鬼北の熟成雉な ど）	魚介類 （ブリ、鯛、 スマ、ヒオウギ貝など）	野菜類 （霜川なす、伊予美 人など）	郷土料理 （鯛めし、焼き豚 卵子飯、じゃこ天、 今治焼き鳥など）	食べたい料理・食材はない	その他
全体 (n=1,145)	39.7	34.8	16.2	12.9	7.9	55.3	14.1	56.4	12.7	0.3
前期・後期高齢者別										
前期高齢者 (n=566)	38.9	32.7	15.7	12.7	8.0	52.7	13.8	54.9	15.5	0.4
後期高齢者 (n=577)	40.6	36.7	16.5	12.8	7.8	57.9	14.6	57.9	9.9	0.3
男性										
全体 (n=884)	36.8	33.8	16.1	12.8	8.6	56.3	11.4	56.0	13.0	0.2
前期高齢者 (n=418)	35.2	30.9	15.3	11.7	7.9	53.6	10.0	52.6	17.7	0.2
後期高齢者 (n=464)	38.1	36.4	16.6	13.4	9.3	58.8	12.7	59.1	8.8	0.2
女性										
全体 (n=259)	50.2	37.8	16.2	13.5	5.4	51.7	23.2	57.5	11.6	0.8
前期高齢者 (n=147)	49.7	38.1	17.0	15.6	8.2	50.3	24.5	61.2	9.5	0.7
後期高齢者 (n=112)	50.9	37.5	15.2	10.7	1.8	53.6	21.4	52.7	14.3	0.9
旅行への興味別										
興味がある (n=962)	41.4	37.3	17.5	13.7	8.4	59.9	15.2	61.2	8.7	0.4
興味がない (n=183)	31.1	21.3	9.3	8.7	4.9	31.1	8.7	31.1	33.3	0.0
希望同行者別										
一人 (n=155)	36.8	29.7	13.5	13.5	9.0	53.5	18.1	52.9	14.8	0.6
夫婦 (n=642)	38.8	36.1	15.7	13.4	7.5	55.1	11.5	60.0	11.7	0.5
家族 (2・3世代) (n=174)	39.1	37.9	20.7	14.4	8.0	57.5	21.3	57.5	12.6	0.0
友人 (n=154)	46.8	31.8	16.2	9.7	7.1	52.6	13.6	45.5	14.9	0.0
団体 (n=8)	50.0	37.5	12.5	0.0	25.0	75.0	12.5	37.5	0.0	0.0
その他 (n=12)	41.7	16.7	8.3	8.3	8.3	75.0	8.3	50.0	16.7	0.0

- 愛媛県で食べたい料理・食材について、「郷土料理（鯛めし、焼き豚卵子飯、じゃこ天、今治焼き鳥など）」と回答した人の割合が最も高く、56.4%となっています。次いで、「魚介類（ブリ、鯛、スマ、ヒオウギ貝など）」（55.3%）、「柑橘類（みかん、紅まどんな、せとかなど）」（39.7%）と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「魚介類（ブリ、鯛、スマ、ヒオウギ貝など）」と回答した割合は、後期高齢者の方が5.2ポイント高くなっています。
- 性別にみると、「柑橘類」、「野菜類」と回答した割合は、女性の方が10ポイント以上高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「県産ブランド牛」、「魚介類」の割合は後期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。女性では、「ジビエ」、「郷土料理」の割合は前期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。
- 旅行への興味別にみると、「食べたい料理・食材はない」と回答した割合は、興味がない人の方が24.6ポイント高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、友人は「魚介類」、夫婦は「郷土料理」、家族（2・3世代）は「魚介類」、「郷土料理」の割合が最も高くなっています。

問 12 旅行先の情報について、どのように集めていますか。(複数回答)

旅行先		旅行サイト	WEB広告・ダイレクトメール	インターネット、Facebook, LINEなど	ガイドブック・雑誌	パンフレット・カタログ	家族や知人からの紹介
全体 (n=1,145)		63.4	18.0	4.5	37.8	36.1	12.7
前期・後期高齢者別	前期高齢者 (n=566)	65.4	15.5	5.5	36.9	33.2	12.4
	後期高齢者 (n=577)	61.5	20.3	3.5	38.5	38.8	13.0
男性	全体 (n=884)	63.6	18.9	4.5	37.0	35.0	9.8
	前期高齢者 (n=418)	65.1	16.3	5.7	34.9	29.7	10.5
	後期高齢者 (n=464)	62.3	21.1	3.2	38.6	39.7	9.3
女性	全体 (n=259)	62.5	15.1	4.6	40.5	39.8	22.4
	前期高齢者 (n=147)	66.0	13.6	4.8	42.9	43.5	17.7
	後期高齢者 (n=112)	58.0	17.0	4.5	37.5	34.8	28.6
希望同行者別	一人 (n=155)	51.0	17.4	6.5	31.6	27.1	2.6
	夫婦 (n=642)	67.0	19.2	3.7	39.4	39.1	12.1
	家族 (2・3世代) (n=174)	63.8	13.2	4.6	42.5	36.2	17.8
	友人 (n=154)	61.0	20.8	6.5	33.8	33.1	20.1
	団体 (n=8)	50.0	0.0	0.0	37.5	37.5	12.5
	その他 (n=12)	66.7	8.3	0.0	16.7	25.0	0.0

旅行先		テレビ・ラジオ	新聞記事・広告	旅行会社窓口	観光協会などの案内所	旅行先の情報を集めることがない	その他
全体 (n=1,145)		25.9	19.7	17.1	19.2	9.9	1.4
前期・後期高齢者別	前期高齢者 (n=566)	29.5	15.7	13.3	17.0	12.2	1.6
	後期高齢者 (n=577)	22.5	23.4	20.8	21.5	7.6	1.2
男性	全体 (n=884)	24.8	19.1	17.0	18.8	10.6	1.7
	前期高齢者 (n=418)	27.0	13.6	11.0	15.1	13.9	2.2
	後期高齢者 (n=464)	22.8	23.9	22.2	22.2	7.8	1.3
女性	全体 (n=259)	30.1	21.6	17.8	20.8	7.3	0.4
	前期高齢者 (n=147)	36.7	21.8	19.7	22.4	7.5	0.0
	後期高齢者 (n=112)	21.4	21.4	15.2	18.8	7.1	0.9
希望同行者別	一人 (n=155)	26.5	14.2	7.1	18.1	20.6	3.2
	夫婦 (n=642)	26.6	21.8	18.2	18.4	7.6	1.2
	家族 (2・3世代) (n=174)	20.7	18.4	23.0	22.4	7.5	0.6
	友人 (n=154)	27.9	18.8	16.9	20.8	11.0	0.6
	団体 (n=8)	12.5	12.5	25.0	12.5	0.0	0.0
	その他 (n=12)	41.7	8.3	0.0	16.7	16.7	8.3

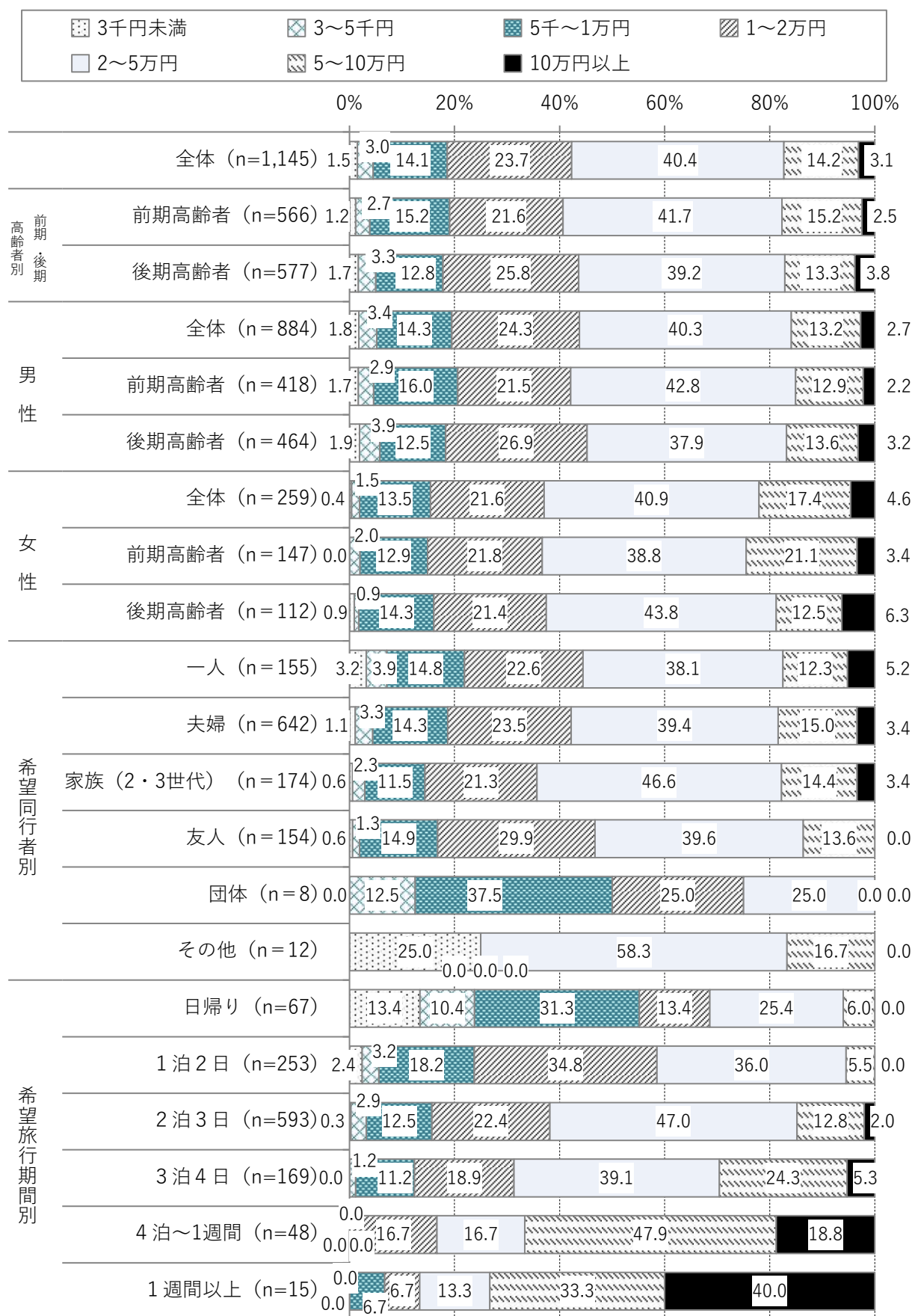
- 旅行先の情報収集方法について、「旅行サイト」と回答した人の割合が最も高く、63.4%となっています。次いで、「ガイドブック・雑誌」(37.8%)、「パンフレット・カタログ」(36.1%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「パンフレット・カタログ」、「新聞記事・広告」、「旅行会社窓口」と回答した割合は、後期高齢者の方が5ポイント以上高くなっている一方、「テレビ・ラジオ」と回答した割合は、前期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。
- 性別にみると、「家族や知人からの紹介」と回答した割合は、女性の方が12.6ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「パンフレット・カタログ」、「新聞記事・広告」、「旅行会社窓口」の割合は後期高齢者の方が10ポイント以上高くなっています。女性では、「家族や知人からの紹介」の割合は後期高齢者の方が10ポイント以上高くなっている一方、「テレビ・ラジオ」の割合は前期高齢者の方が10ポイント以上高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、夫婦、家族(2・3世代)、友人の全てで「旅行サイト」の割合が最も高くなっています。

問 13 観光を目的とした旅行に求めることはなんですか。(複数回答)

(%)		健康増進・体力維持	家族や友人との時間	現地の人との交流	非日常感	ストレス発散・気分転換	癒し	新しい出会いや発見	旅行に求めることはない	その他
全体 (n=1,145)		14.8	35.2	7.1	47.4	51.2	50.8	18.9	4.5	0.8
前期・後期高齢者別	前期高齢者 (n=566)	9.7	36.7	6.0	49.1	53.4	48.1	20.0	4.1	0.7
	後期高齢者 (n=577)	19.8	33.6	8.1	45.3	49.0	53.6	17.9	4.9	0.9
男性	全体 (n=884)	15.6	34.2	7.7	44.9	49.8	49.1	20.0	4.3	0.6
	前期高齢者 (n=418)	10.3	36.6	6.7	46.2	50.7	44.3	20.6	3.8	0.5
	後期高齢者 (n=464)	20.5	31.9	8.6	43.8	48.9	53.4	19.6	4.7	0.6
女性	全体 (n=259)	12.0	38.6	5.0	55.6	55.6	57.1	15.1	5.0	1.5
	前期高齢者 (n=147)	8.2	37.4	4.1	57.1	60.5	59.2	18.4	4.8	1.4
	後期高齢者 (n=112)	17.0	40.2	6.3	53.6	49.1	54.5	10.7	5.4	1.8
希望同行者別	一人 (n=155)	16.8	3.2	8.4	46.5	49.0	41.9	25.2	7.1	1.3
	夫婦 (n=642)	15.4	37.4	6.7	48.4	51.1	54.5	18.7	3.7	0.6
	家族 (2・3世代) (n=174)	13.8	51.7	7.5	48.3	53.4	47.7	15.5	3.4	0.0
	友人 (n=154)	11.0	40.9	7.8	42.9	51.3	48.7	18.8	3.9	1.3
	団体 (n=8)	12.5	37.5	0.0	37.5	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0
	その他 (n=12)	16.7	16.7	0.0	58.3	50.0	50.0	8.3	25.0	8.3

- 観光を目的とした旅行に求めることについて、「ストレス発散・気分転換」と回答した人の割合が最も高く、51.2%となっています。次いで、「癒し」(50.8%)、「非日常感」(47.4%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「健康増進・体力維持」、「癒し」と回答した割合は、後期高齢者の方が5ポイント以上高くなっています。
- 性別にみると、「非日常感」と回答した割合は、女性の方が10.7ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「健康増進・体力維持」の割合は後期高齢者の方が10.2ポイント高くなっています。女性では、「ストレス発散・気分転換」の割合は前期高齢者の方が11.4ポイント高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、家族(2・3世代)、友人は「ストレス発散・気分転換」、夫婦は「癒し」の割合が最も高くなっています。また、家族(2・3世代)の「家族や友人との時間」の割合がその他の希望同行者に比べて高くなっています。

問 14 1回の旅行に対して、現地で一人あたりどのくらいお金を使いますか（渡航費を除いて、現地での交通宿泊費、観光費、飲食代をあわせて）。（単数回答）



- 1回の旅行に対して、現地で一人あたり使用する金額について、「2～5万円」と回答した人の割合が最も高く、40.4%となっています。次いで、「1～2万円」(23.7%)、「5～10万円」(14.2%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみても、大きな差はみられません。
- 性別にみると、『5万円以上』(「5～10万円」と「10万円以上」の和)と回答した割合は、女性の方が6.1ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、男性では「2～5万円」の割合は前期高齢者の方が4.9ポイント高くなっている一方、女性では後期高齢者の方が5.0ポイント高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、夫婦、家族(2・3世代)、友人の全てで「2～5万円」の割合が最も高くなっていますが、特に家族(2・3世代)の割合が高くなっています。
- 希望旅行期間別にみると、日帰りは「5千～1万円」、1泊2日、2泊3日、3泊4日では「2～5万円」、4泊～1週間では「5～10万円」、1週間以上では「10万円以上」が最も高くなっています。

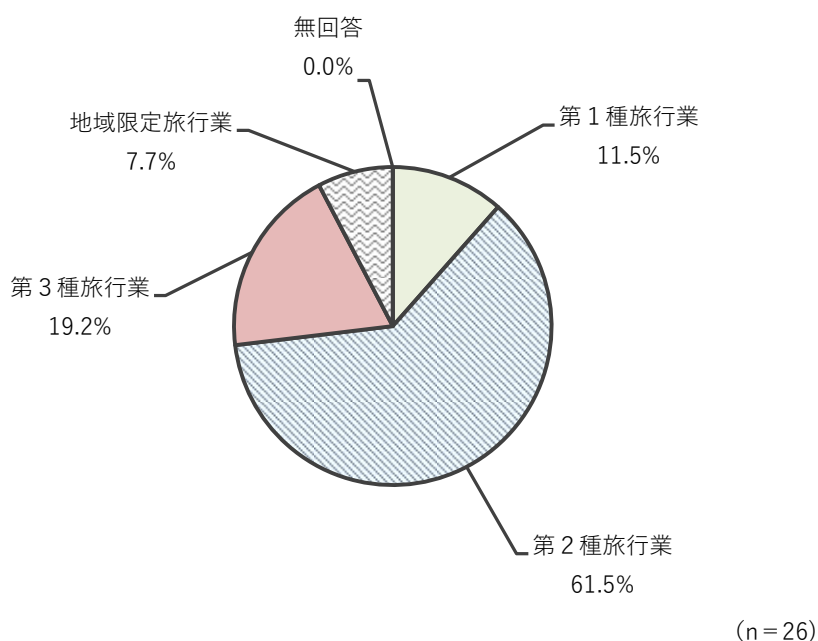
問 15 観光を目的とした旅行について、普段どの程度 WEB を活用していますか。(複数回答)

(%)	自分がWEBで旅行申込みをしている	家族がWEBで旅行申込みをしてくれている	観光サイトや個人ブログなどで情報を集めている	旅行先で交通情報の確認に活用している	WEBは利用していない	その他
全体 (n=1,145)	55.6	12.0	23.1	19.0	23.1	0.7
前期・後期高齢者別						
前期高齢者 (n=566)	57.1	13.6	21.9	19.1	20.0	1.2
後期高齢者 (n=577)	54.2	10.4	24.3	18.9	26.3	0.2
男性						
全体 (n=884)	59.0	8.7	23.3	18.1	22.9	0.7
前期高齢者 (n=418)	61.0	10.3	21.5	18.2	19.6	1.2
後期高齢者 (n=464)	57.3	7.3	24.8	18.1	25.9	0.2
女性						
全体 (n=259)	44.0	23.2	22.0	22.0	24.3	0.8
前期高齢者 (n=147)	45.6	23.1	22.4	21.8	21.1	1.4
後期高齢者 (n=112)	42.0	23.2	21.4	22.3	28.6	0.0
希望同行者別						
一人 (n=155)	57.4	2.6	16.8	20.6	25.8	0.0
夫婦 (n=642)	62.3	10.3	24.6	17.6	19.3	0.6
家族 (2・3世代) (n=174)	41.4	29.3	21.8	21.3	25.9	0.0
友人 (n=154)	44.2	9.1	24.0	21.4	32.5	1.3
団体 (n=8)	25.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
その他 (n=12)	50.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7

- 観光を目的とした旅行に関する WEB の活用状況について、「自分が WEB で旅行申込みをしている」と回答した人の割合が最も高く、55.6%となっています。次いで、「観光サイトや個人ブログなどで情報を集めている」(23.1%)、「旅行先で交通情報の確認に活用している」(19.0%)と続いています。
- 前期・後期高齢者別にみると、「WEB は利用していない」と回答した割合は、後期高齢者の方が 6.3 ポイント高くなっています。
- 性別にみると、「自分が WEB で旅行申込みをしている」と回答した割合は、男性の方が 15.0 ポイント高くなっている一方、「家族が WEB で旅行申込みをしてきている」と回答した割合は、女性の方が 14.5 ポイント高くなっています。
- 性別ごとの前期・後期高齢者結果をみると、「WEB は利用していない」の割合は、男性では 6.3 ポイント、女性では 7.5 ポイント後期高齢者の方が高くなっています。
- 希望同行者別にみると、一人、夫婦、家族 (2・3世代)、友人の全てで「自分が WEB で旅行申込みをしている」の割合が最も高くなっています。また、家族 (2・3世代) の「家族が WEB で旅行申込みをしてきている」の割合が、その他の希望同行者に比べて高くなっています。

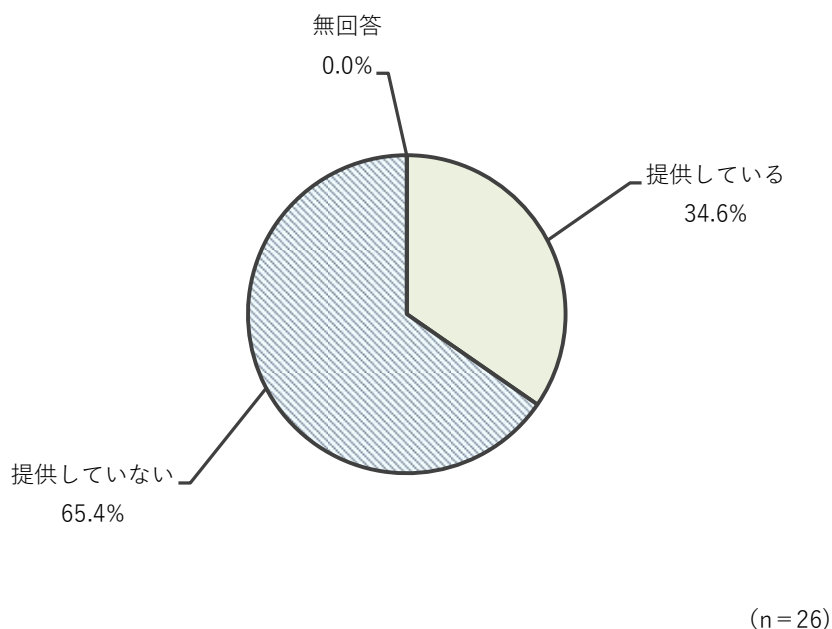
2. 県内旅行会社

問1 貴事業所の取得されている許認可をお選びください。(単数回答)



●取得している許認可について、「第2種旅行業」と回答した事業所の割合が最も高く、61.5%となっています。次いで、「第3種旅行業」(19.2%)、「第1種旅行業」(11.5%)と続いています。

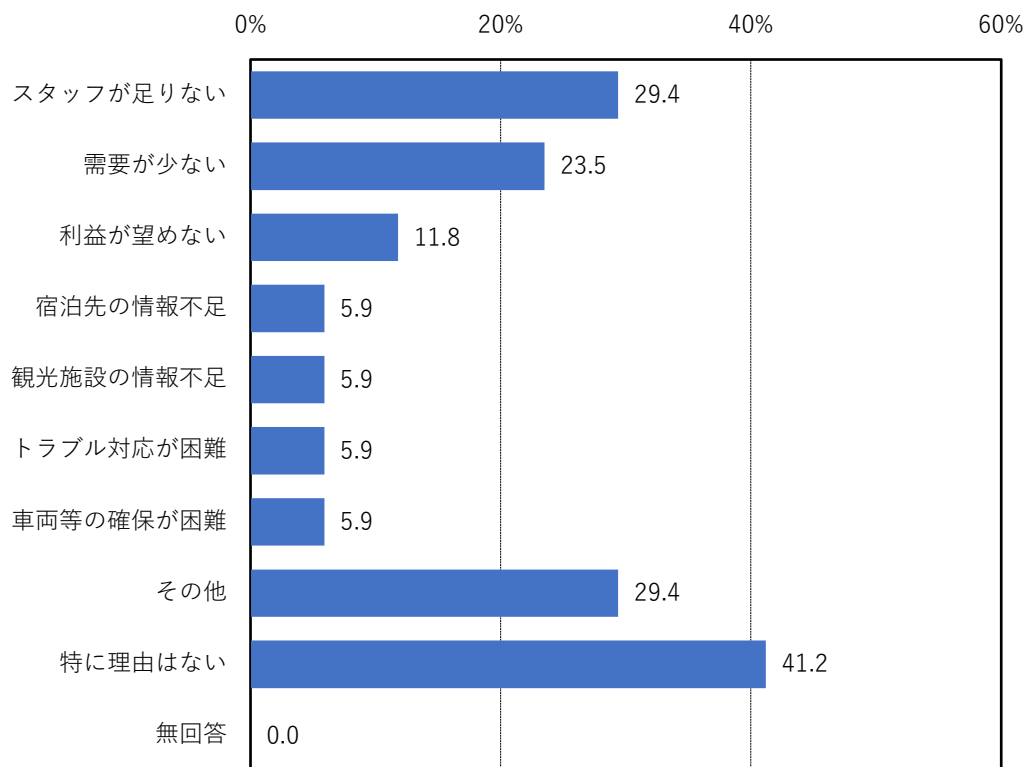
問2 シニア層(65歳以上)に特化した旅行商品の提供を行っていますか。(単数回答)



●シニア層(65歳以上)に特化した旅行商品の提供について、「提供している」と回答した事業所の割合は34.6%となっています。一方、「提供していない」と回答した事業所の割合は65.4%となっています。

【問2で「提供していない」と回答した事業所のみ】

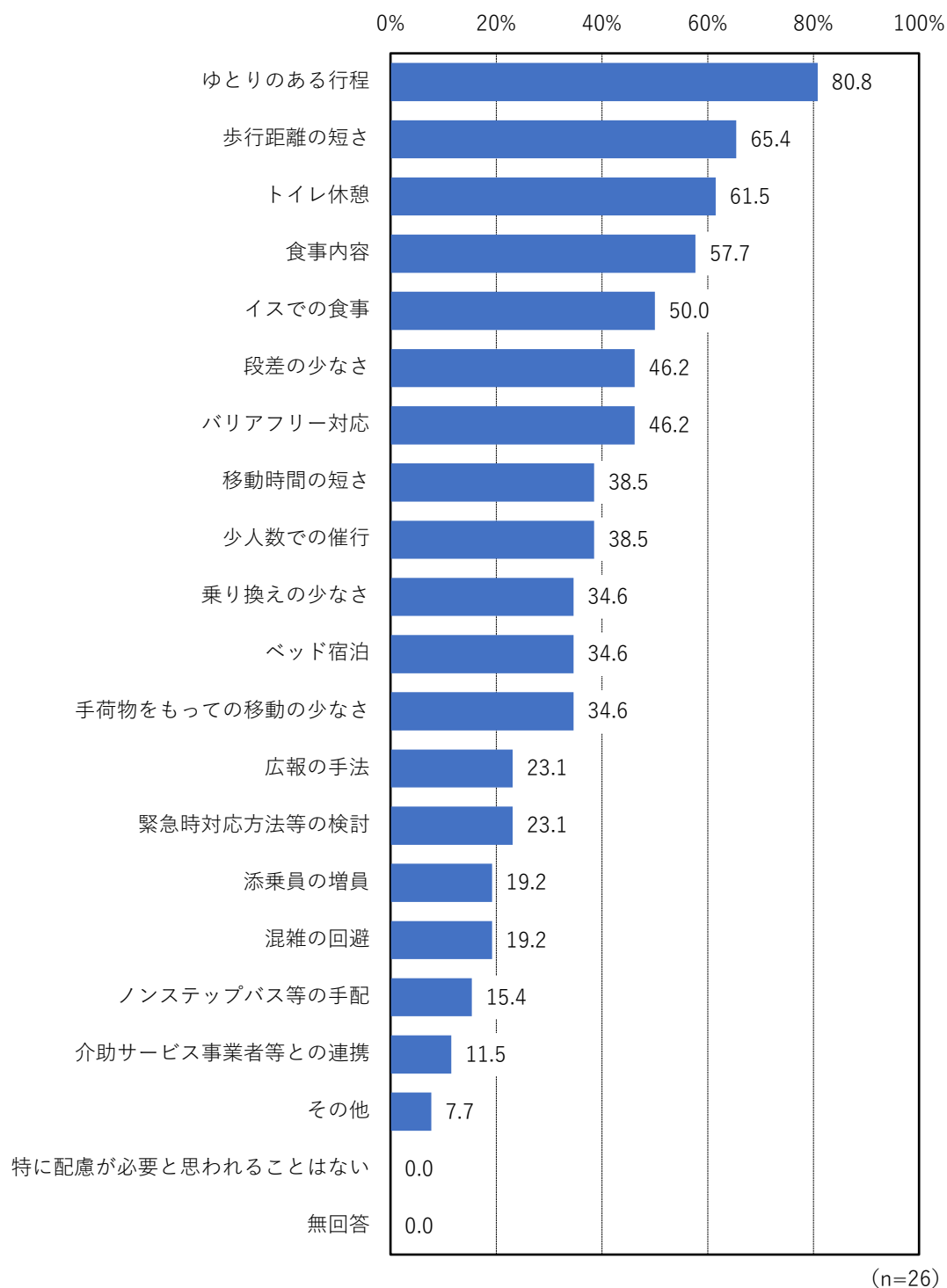
問3 提供していない理由は何ですか。(複数回答)



(n=17)

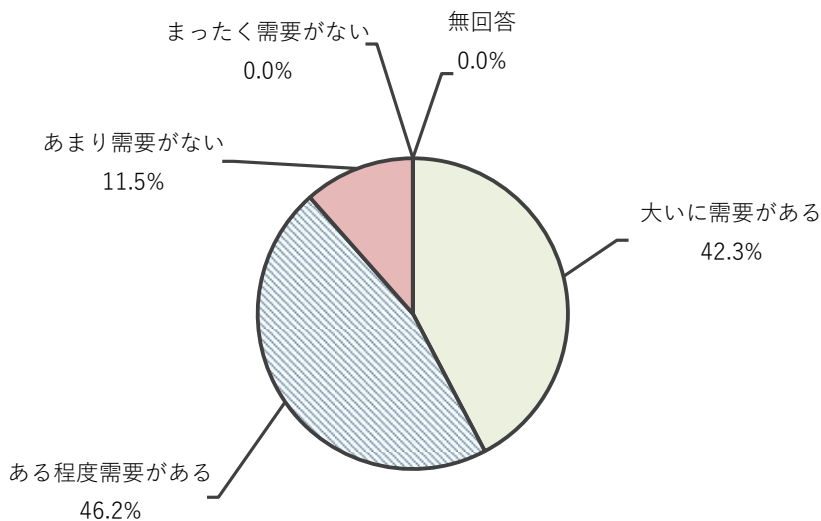
- 問2で「提供していない」と回答した事業所のシニア層に特化した旅行商品を提供していない理由について、「スタッフが足りない」と回答した事業所の割合が最も高く、29.4%となっています。次いで、「需要が少ない」(23.5%)、「利益が望めない」(11.8%)と続いています。

問4 シニア層に配慮した旅行商品を検討するに当たって特に配慮が必要と考えられる項目は何ですか。(複数回答)



●シニア層に配慮した旅行商品を検討するに当たって特に配慮が必要と考えられる項目について、「ゆとりのある行程」と回答した事業所の割合が最も高く、80.8%となっています。次いで、「歩行距離の短さ」(65.4%)、「トイレ休憩」(61.5%)と続いています。

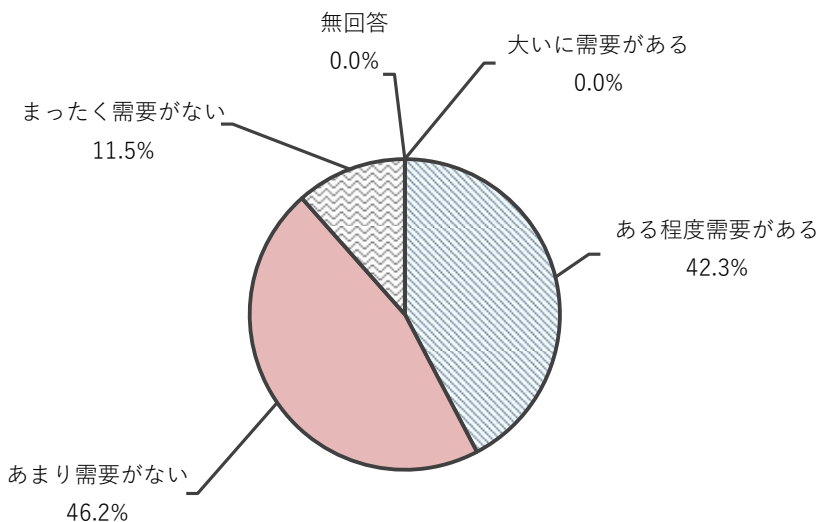
問5 シニア層のうち、アクティブシニア層向けの旅行商品について需要はありますか。
(単数回答)



(n=26)

●シニア層のうち、アクティブシニア層向けの旅行商品の需要について、「ある程度需要がある」と回答した事業所の割合が最も高く、46.2%となっています。次いで、「大いに需要がある」(42.3%)、「あまり需要がない」(11.5%)と続いています。

問6 シニア層のうち、要介護者等に特化した旅行商品について需要はありますか。
(単数回答)

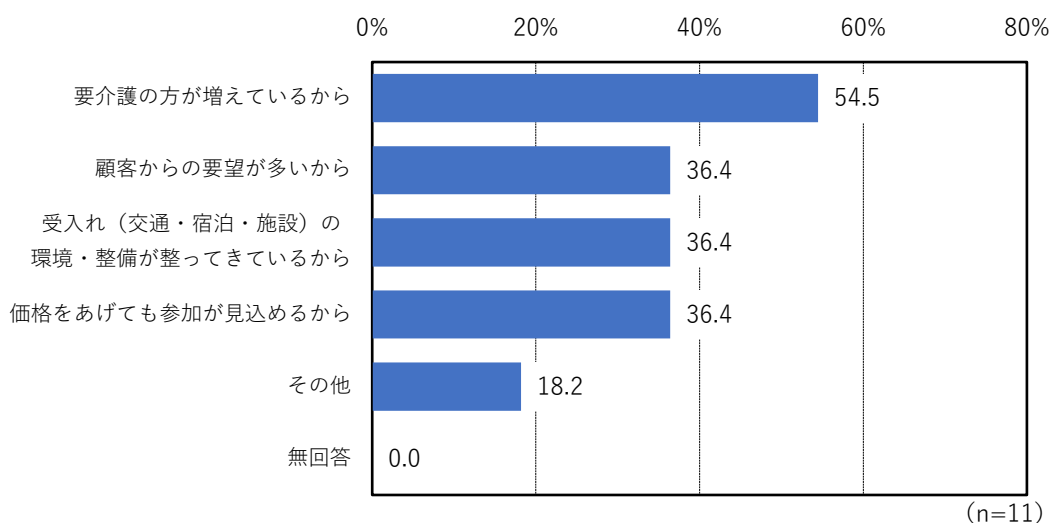


(n=26)

●シニア層のうち、要介護者等に特化した旅行商品の需要について、「あまり需要がない」と回答した事業所の割合が最も高く、46.2%となっています。次いで、「ある程度需要がある」(42.3%)、「まったく需要がない」(11.5%)と続いています。

【問6で大いに需要がある、ある程度需要があると回答した事業者のみ】

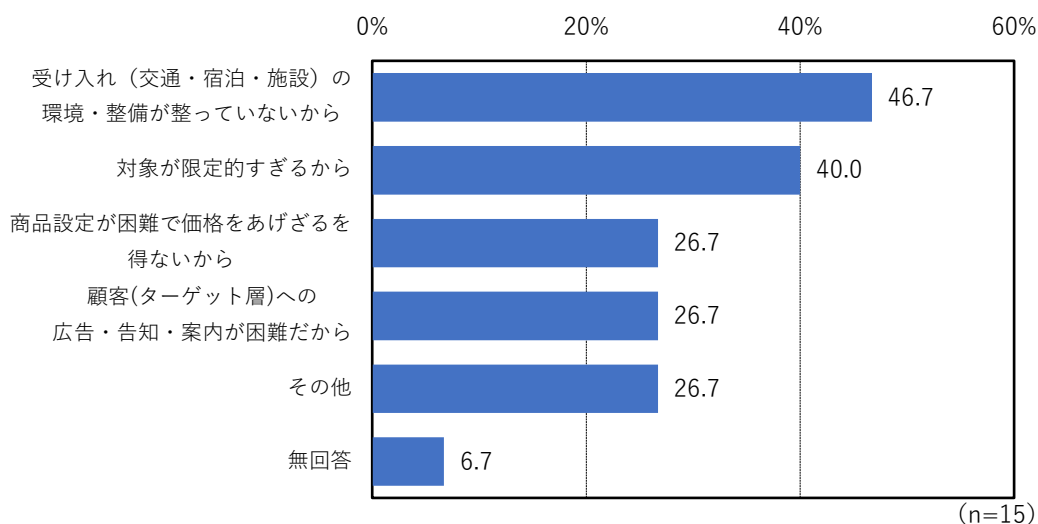
問7 その理由は何ですか。(複数回答)



●問6で「大いに需要がある」「ある程度需要がある」と回答した事業者の理由として、「要介護の方が増えているから」と回答した事業所の割合が最も高く、54.5%となっています。次いで、「顧客からの要望が多いから」「受入れ(交通・宿泊・施設)の環境・整備が整ってきているから」「価格をあげても参加が見込めるから」(ともに36.4%)と続いています。

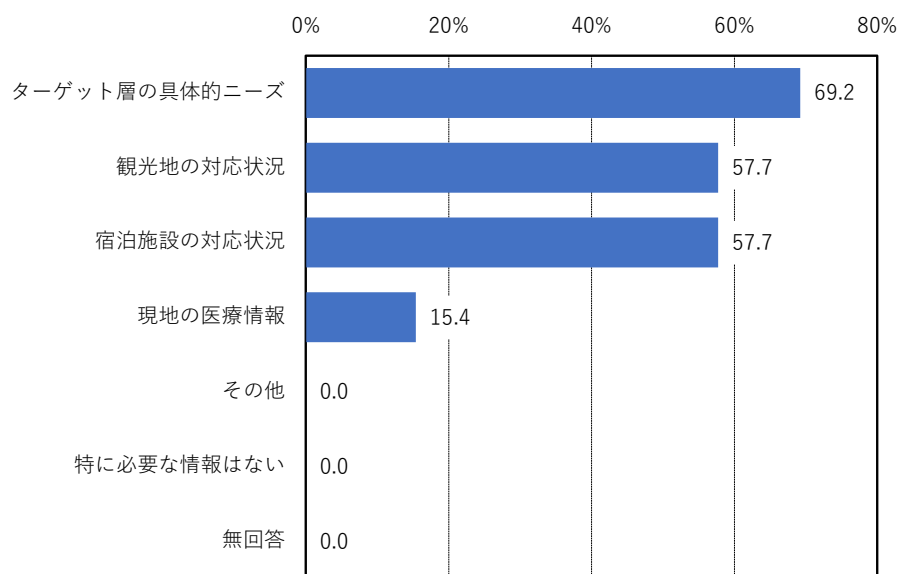
【問6であまり需要がない、全く需要がないと回答した事業者のみ】

問8 その理由は何ですか。(複数回答)



●問6で「あまり需要がない」「全く需要がない」と回答した事業者の理由として、「受け入れ(交通・宿泊・施設)の環境・整備が整っていないから」と回答した事業所の割合が最も高く、46.7%となっています。次いで、「対象が限定的すぎるから」(40.0%)、「商品設定が困難で価格をあげざるを得ないから」「顧客(ターゲット層)への広告・告知・案内が困難だから」(ともに26.7%)と続いています。

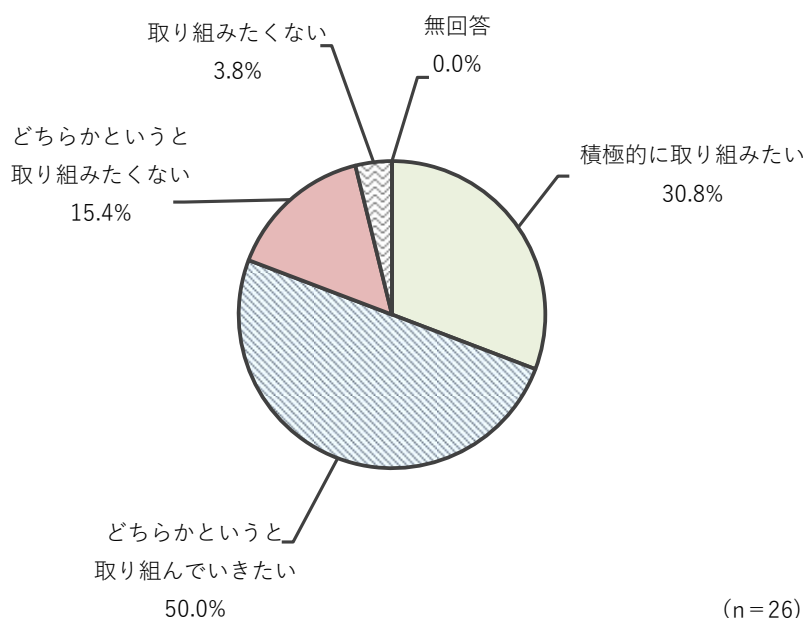
問9 シニア層に特化した旅行商品を検討するに当たって特に必要な情報は何か。
 (複数回答)



(n=26)

●シニア層に特化した旅行商品を検討するための必要な情報について、「ターゲット層の具体的ニーズ」と回答した事業所の割合が最も高く、69.2%となっています。次いで、「観光地の対応状況」「宿泊施設の対応状況」（ともに 57.7%）、「現地の医療情報」（15.4%）と続いています。

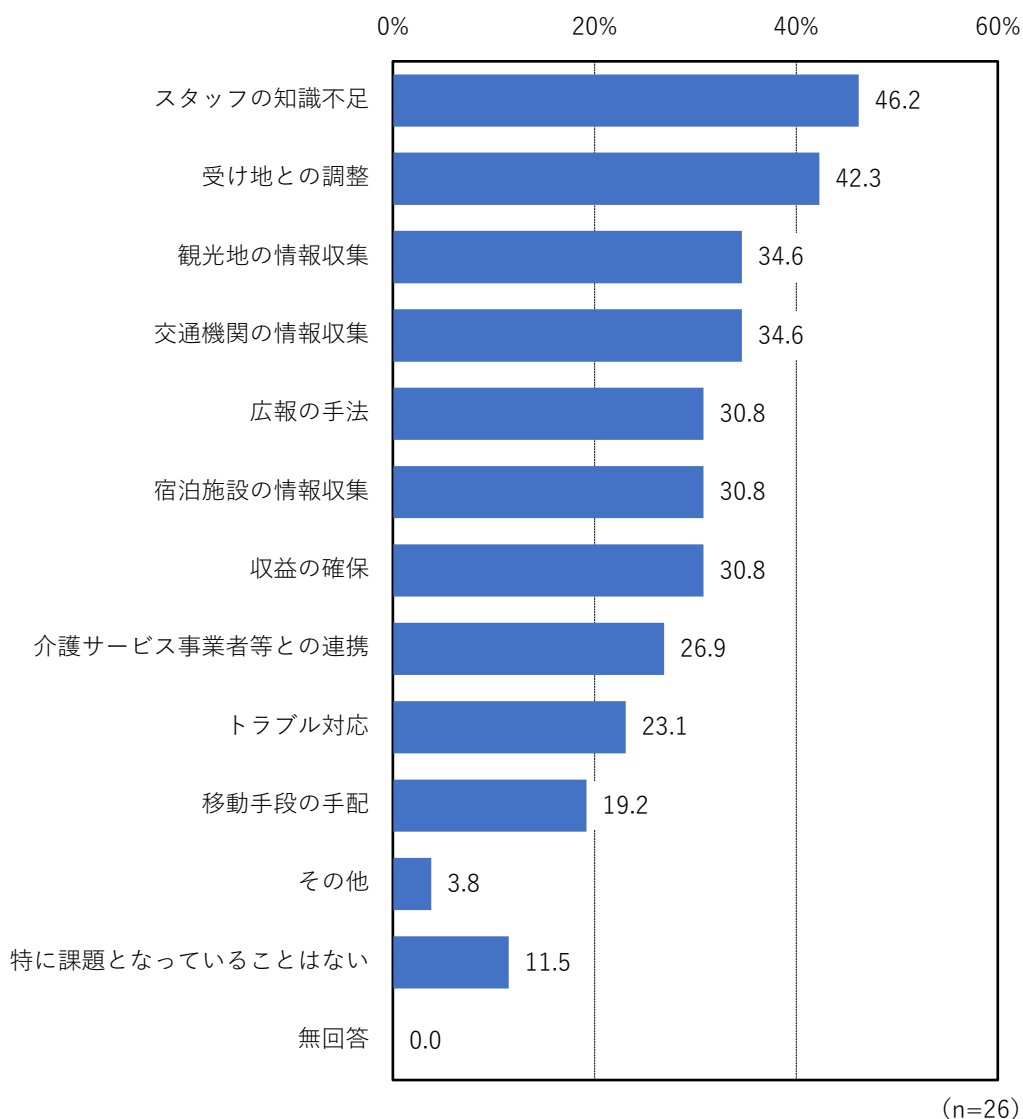
問10 シニア層に特化した旅行商品の提供に取り組んでいきたいですか。(単数回答)



(n=26)

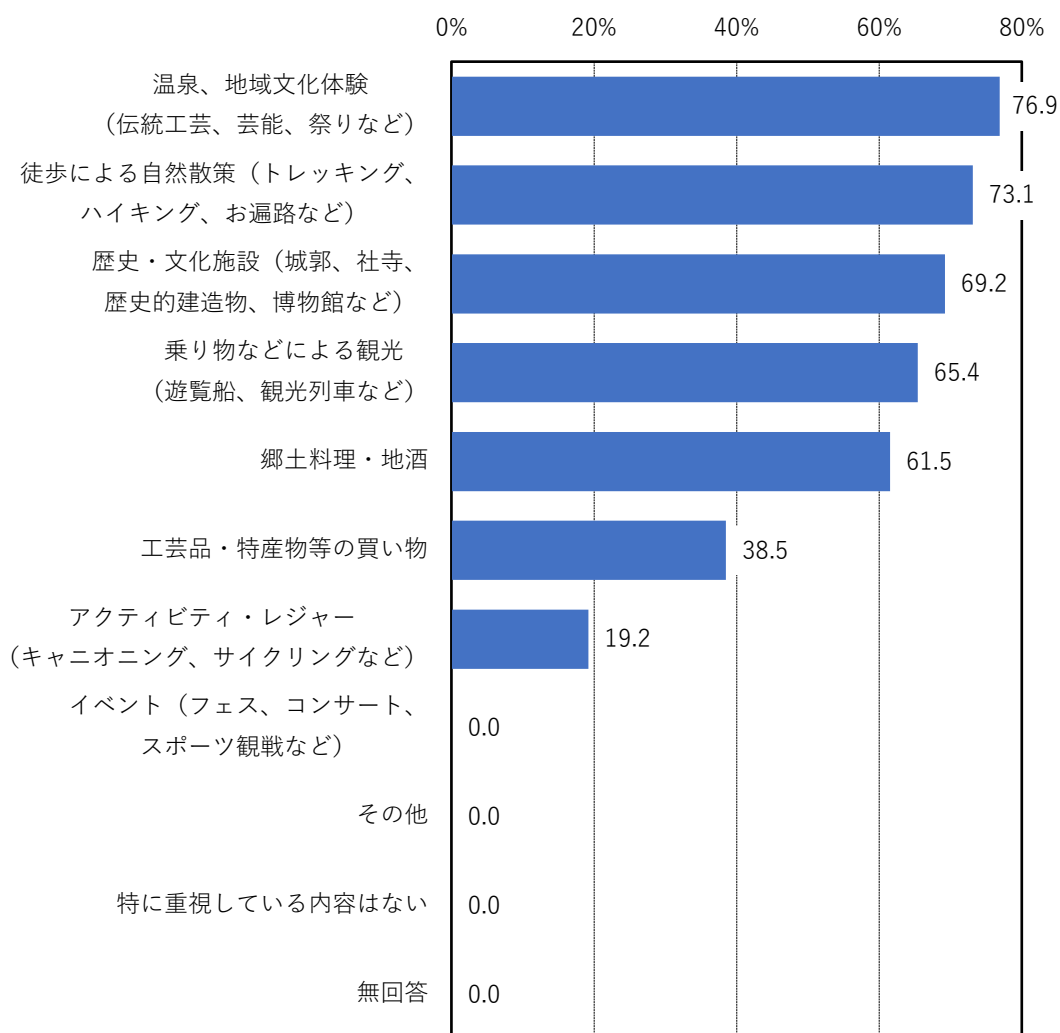
●シニア層に特化した旅行商品提供への取り組み意向について、「どちらかというど取り組みたい」と回答した事業所の割合が最も高く、50.0%となっています。次いで、「積極的に取り組みたい」（30.8%）、「どちらかというど取り組みたくない」（15.4%）と続いています。

問 11 シニア層に特化した旅行商品の提供に取り組んでいく上での課題となっている内容は何ですか。(複数回答)



- シニア層に特化した旅行商品の提供に取り組んでいく上での課題について、「スタッフの知識不足」と回答した事業所の割合が最も高く、46.2%となっています。次いで、「受け地との調整」(42.3%)、「観光地の情報収集」「交通機関の情報収集」(ともに 34.6%)と続いています。

問 12 シニア層を対象とした旅行商品を検討する際に重視する観光内容は何ですか。(複数回答)



(n=26)

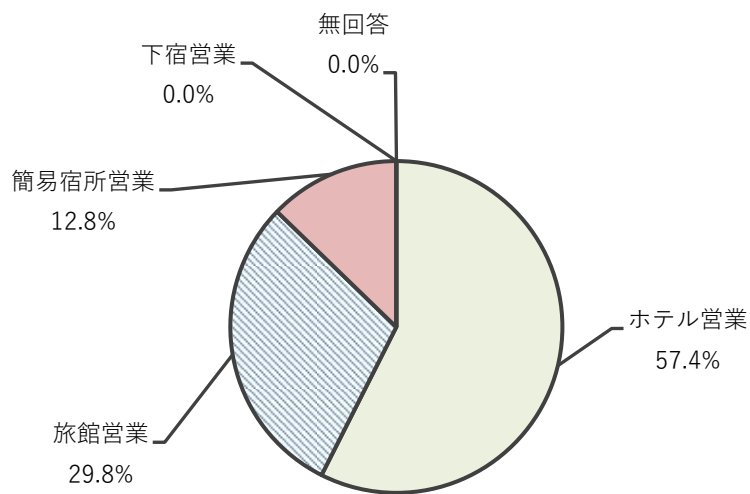
- シニア層を対象とした旅行商品を検討する際に重視する観光内容について、「温泉、地域文化体験 (伝統工芸、芸能、祭りなど)」と回答した事業所の割合が最も高く、76.9%となっています。次いで、「徒歩による自然散策 (トレッキング、ハイキング、お遍路など)」(73.1%)、「歴史・文化施設 (城郭、社寺、歴史的建造物、博物館など)」(69.2%)と続いています。

問 13 今後、高齢化が一層進行する中、より多くのシニア層が旅行しやすい環境づくりを推進するために必要なことについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

- 団体での旅行の場合、貸切バス料金等の補助があれば望ましいと思われます。(第2種旅行業)
- コロナ感染症の一日でも早い終息。(第2種旅行業)
- シニア層に響く文化体験等、県内にあるコンテンツの一元可視化。・富裕層シニアに耐える宿のハード面整備 ・小規模団体を受け入れる飲食店の整理と受け入れ体制の強化(第2種旅行業)
- 乗り換えがほとんどなく、ドア to ドアで観光に行けるような旅の形が必要だと思います(第2種旅行業)
- オンライン予約などが進んでいますが、窓口対応も最低限必要です。(第1種旅行業)
- 昔ながらの大型バスの観光ツアーを期待される多くの層と、アクティブシニアなど少数で新しいものに貪欲な層で全く異なります。二次交通等の規制が緩くなると田舎では選択の幅が広がります。(第3種旅行業)
- アクティブシニアマーケットの深いマーケット調査。(第2種旅行業)
- 近年パソコンやスマートフォンの普及により、これらを利用できる人が得をするような環境になってきておりますが、そうではなくすべての人が同じようなサービスやお得な情報を取得できるような環境づくりが必要だと思います。また、各所で機械化が進み有人窓口・施設が減少しつつありますが、ご高齢のご夫婦が安心して旅行ができるように、わかりやすい案内表示やスタッフの配置が必要だと思います。(若年層は聞くよりも調べた方が早いと思っている人が多いが、ご年配の方はスタッフ等に聞く方が自分の知りたい情報を的確に聞けるし安心できると思います) 電子ツールを持っていない田舎のご年配の方が、都会に旅行をした際に、(東京駅・新宿駅など)迷って困っている様子を見ることがある。(第3種旅行業)
- シニア層は現実的な問題(特に料金面など)を気にする傾向が強く、「いいものを安く」が根本にあり、価格相応以上のものを求めることが多い。都会の人と愛媛の人、また若い人とシニアとのギャップはこのことが大であると思われる。まずはそのあたりを払拭することが重要かと思われます。また、二層化(「目的を持って旅を楽しみたい」方と、「どこでもいいから出かけたたい」方)しているニーズをどう考えるかもあります。(第3種旅行業)
- 情報をわかりやすく提供する。・知的好奇心を刺激するコンテンツを増やす。親切で知識のあるDMOの存在(第2種旅行業)
- シニア層は元気です!若い子よりお金にも時間にも余裕があり、このコロナさえ収まれば需要あります! コロナが季節性インフルエンザ並みになることに尽きます。(第3種旅行業)

3. 県内宿泊施設

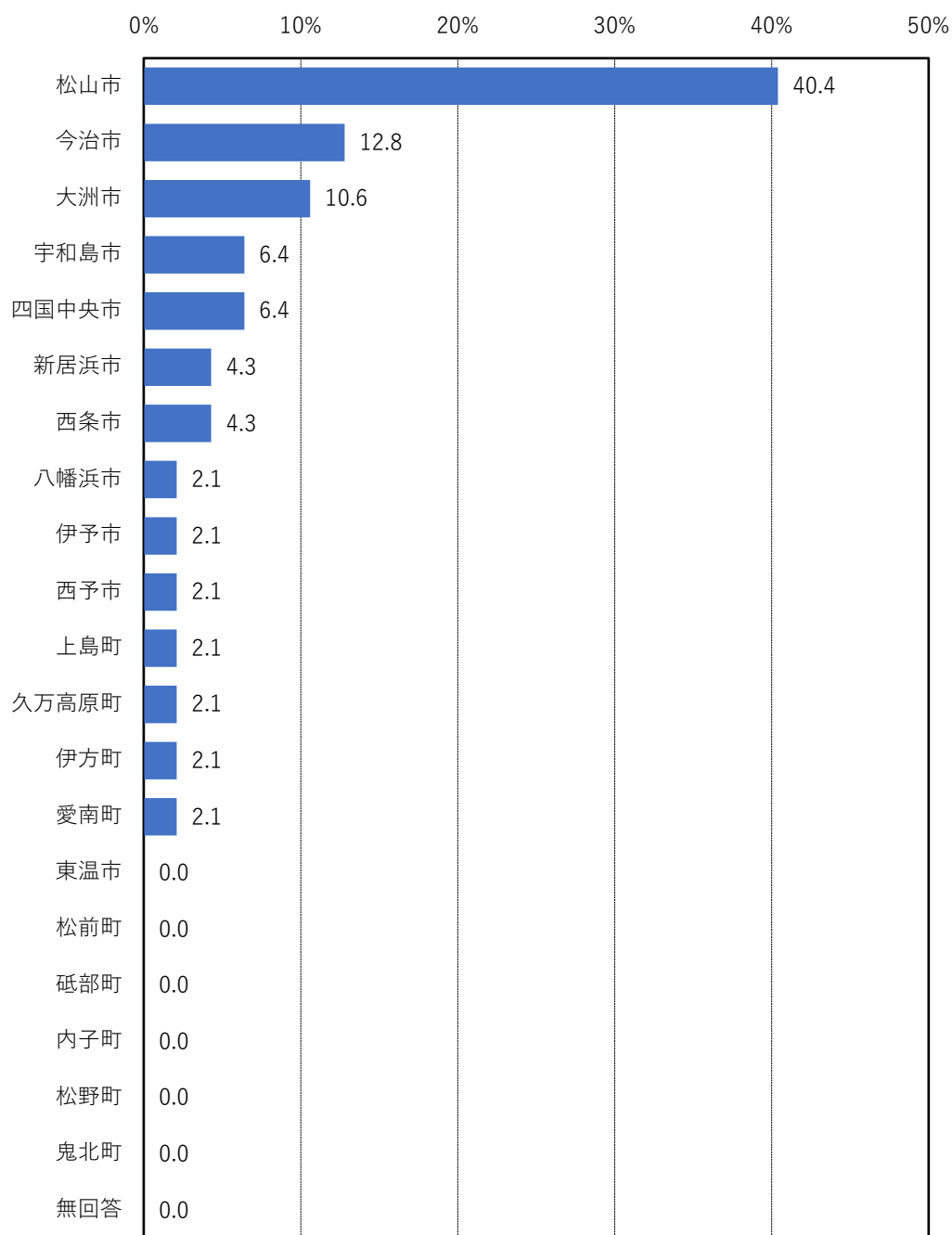
問1 貴施設の種別をお答えください。(単数回答)



(n=47)

- 施設の種別について、「ホテル営業」と回答した施設の割合が最も高く、57.4%となっています。次いで、「旅館営業」(29.8%)、「簡易宿所営業」(12.8%)と続いています。

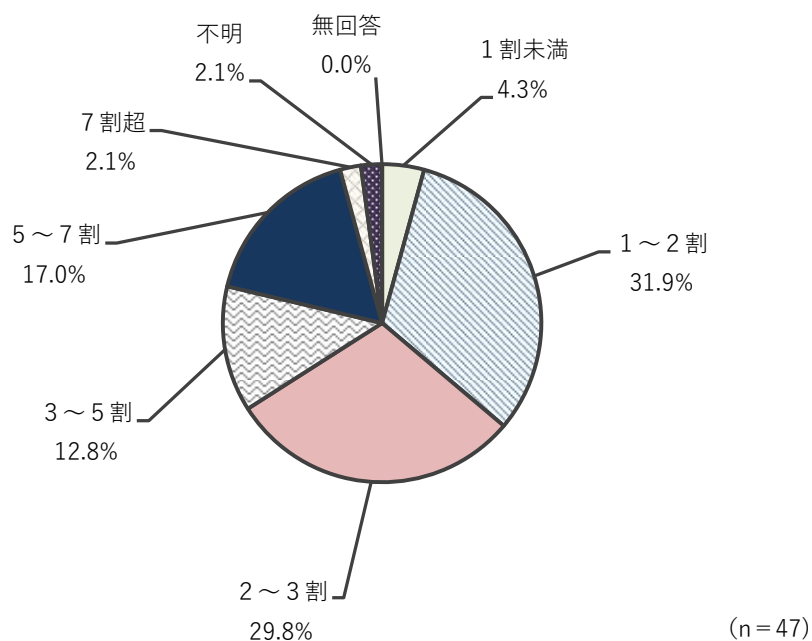
問2 貴施設の所在地をお答えください。(単数回答)



(n=47)

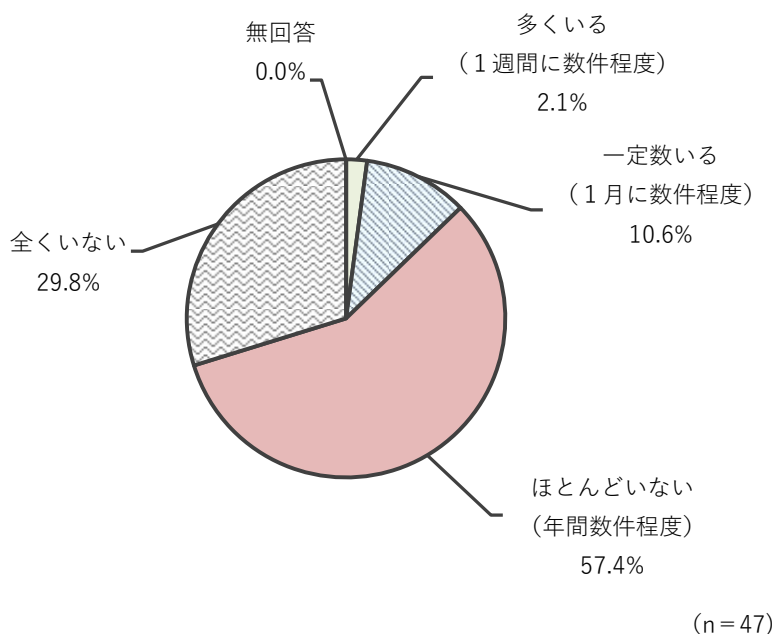
●所在地について、「松山市」と回答した施設の割合が最も高く、40.4%となっています。次いで、「今治市」(12.8%)、「大洲市」(10.6%)と続いています。

問3 宿泊客のうち、シニア層（65歳以上）の割合はどれくらいですか。（単数回答）



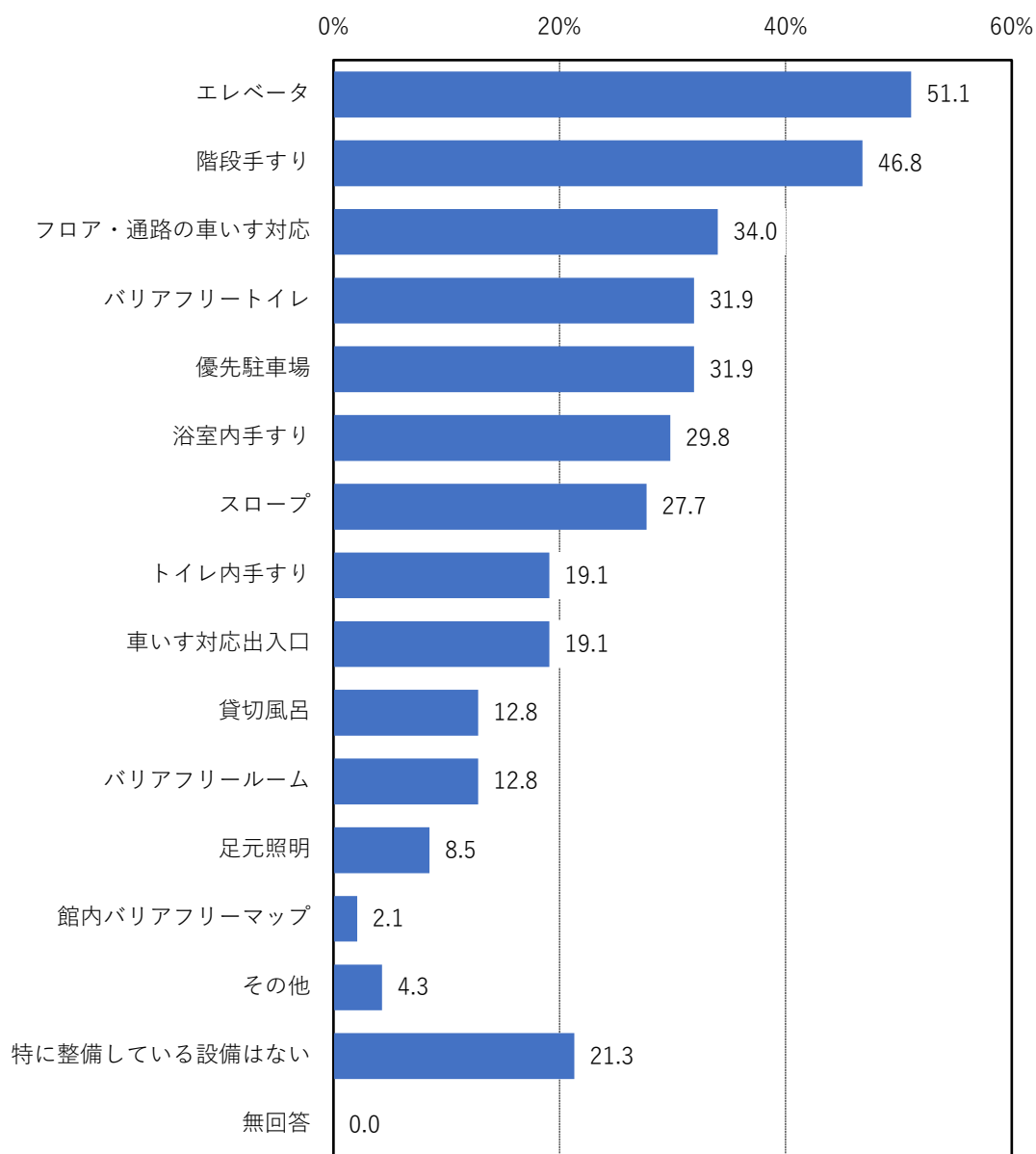
●宿泊客のうち、シニア層（65歳以上）の割合について、「1~2割」と回答した施設の割合が最も高く、31.9%となっています。次いで、「2~3割」（29.8%）、「5~7割」（17.0%）と続いています。

問4 シニア層宿泊客のうち、介護が必要な方や車いすを利用される方はいますか。（単数回答）



●シニア層宿泊客のうち、介護が必要な方や車いすを利用される方の有無について、「ほとんどいない（年間数件程度）」と回答した施設の割合が最も高く、57.4%となっています。次いで、「全くいない」（29.8%）、「一定数いる（1月に数件程度）」（10.6%）と続いています。

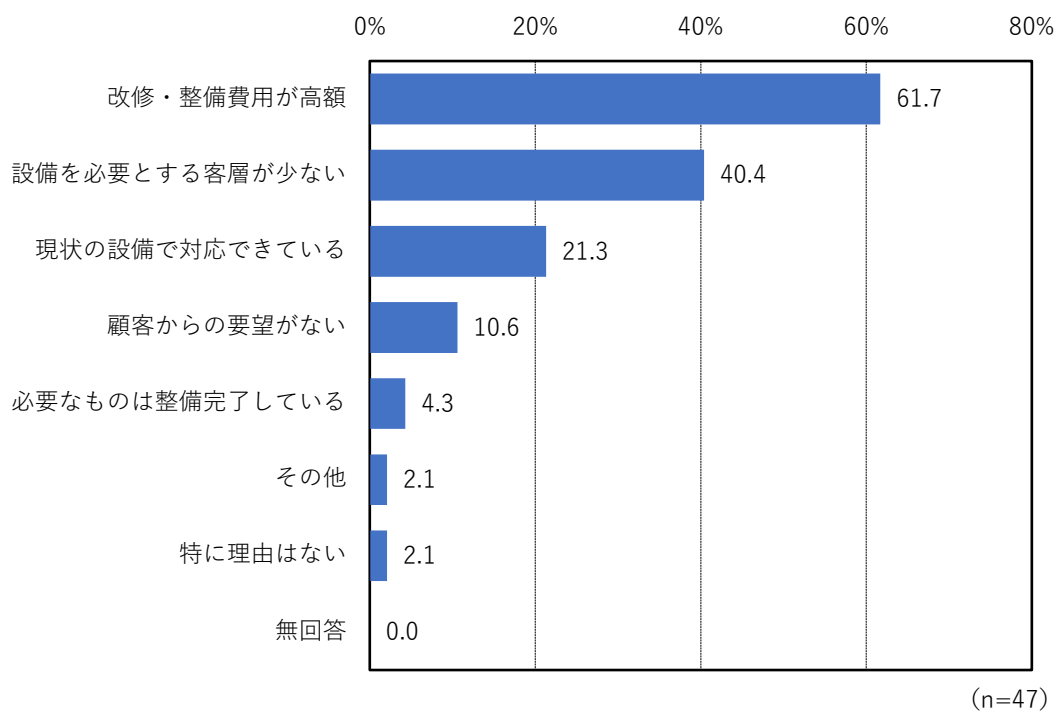
問5 バリアフリー設備について、次のうち整備しているものは何ですか。(複数回答)



(n=47)

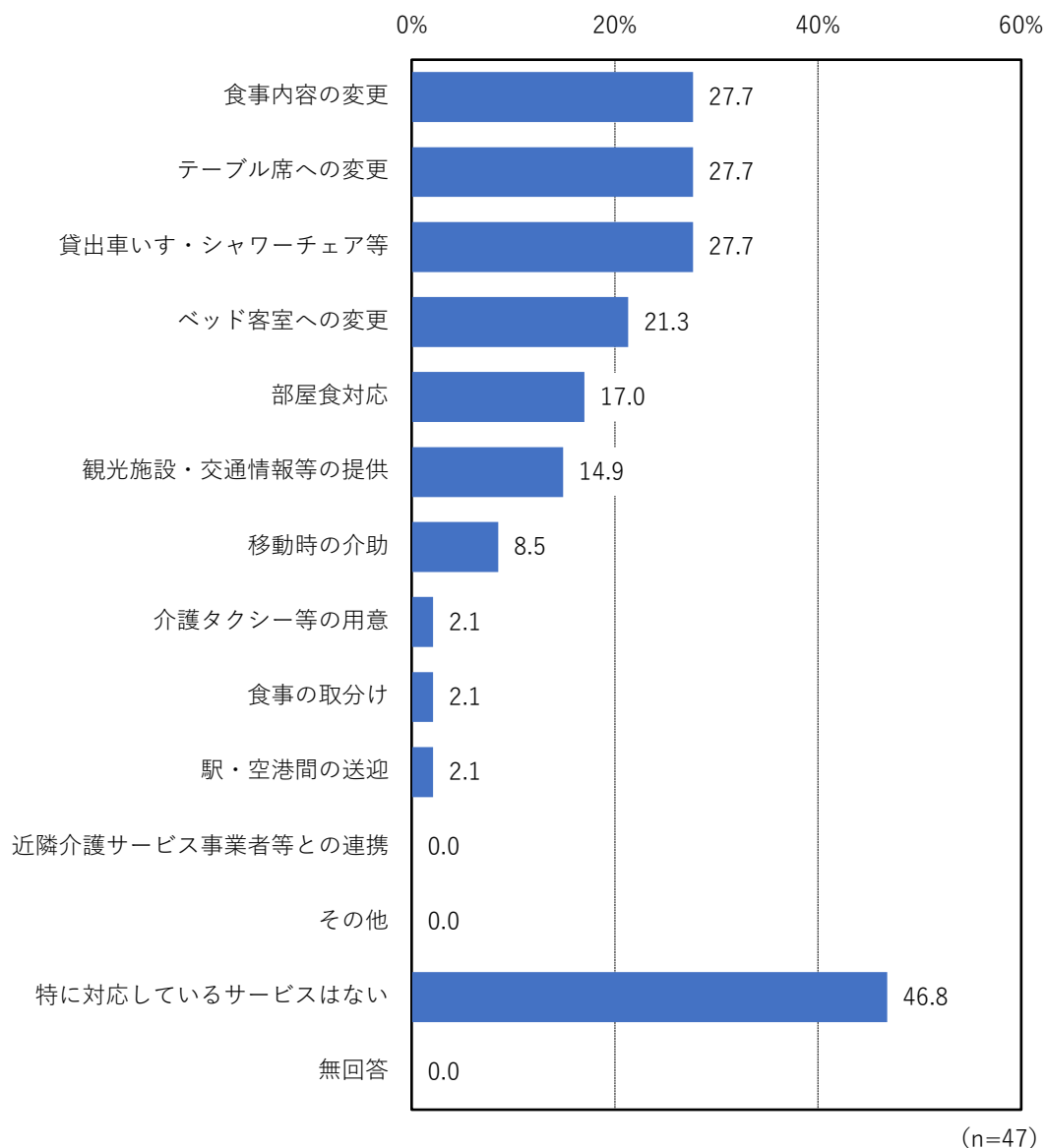
●整備しているバリアフリー設備について、「エレベータ」と回答した施設の割合が最も高く、51.1%となっています。次いで、「階段手すり」(46.8%)、「フロア・通路の車いす対応」(34.0%)と続いています。

問6 バリアフリー設備のうち整備していないものについて、理由は何ですか。(複数回答)



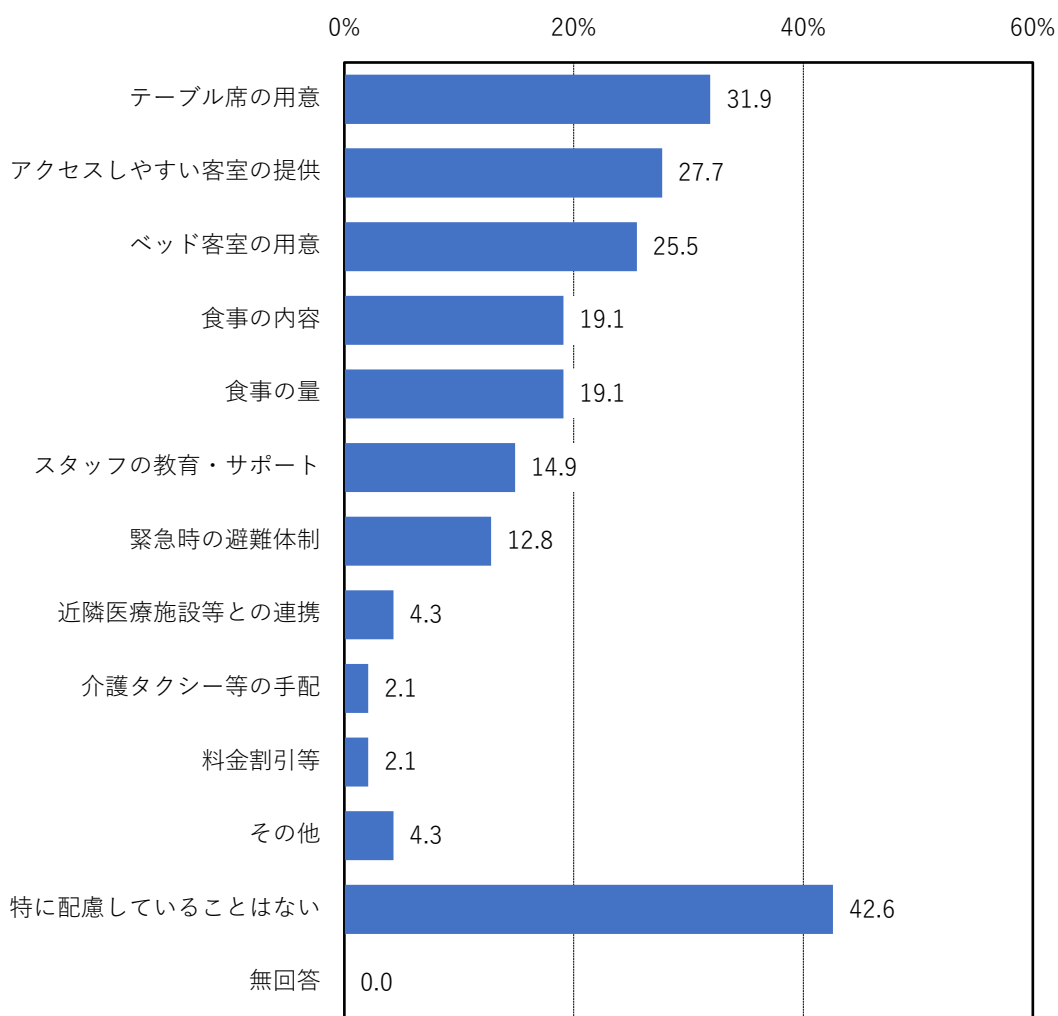
●整備していないバリアフリー設備について、理由をたずねたところ、「改修・整備費用が高額」と回答した施設の割合が最も高く、61.7%となっています。次いで、「設備を必要とする客層が少ない」(40.4%)、「現状の設備で対応できている」(21.3%)と続いています。

問7 シニア層宿泊客を対象としたサービスについて、次のうち対応しているものは何ですか。
(複数回答)



●シニア層宿泊客を対象としたサービスについて、「特に対応しているサービスはない」と回答した割合は 46.8%となっています。これを除く 53.2%はシニア層宿泊客を対象とした何らかのサービスを提供していると回答しています。そのサービスの内容として、「食事内容の変更」「テーブル席への変更」「貸出車いす・シャワーチェア等」と回答した施設の割合が最も高く、ともに 27.7%となっています。次いで、「ベッド客室への変更」(21.3%)、「部屋食対応」(17.0%)と続いています。

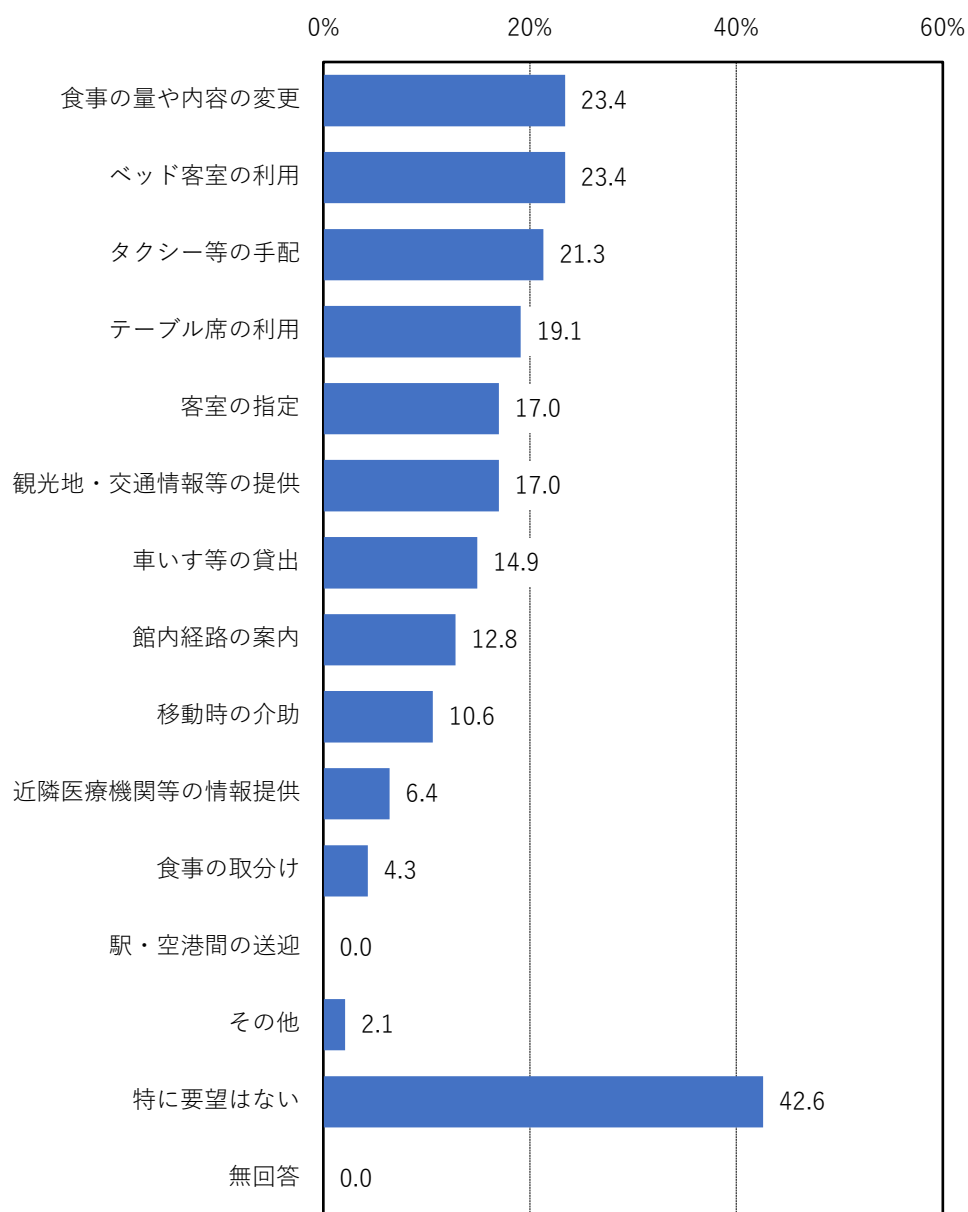
問8 シニア層宿泊客の宿泊に当たって配慮していることは何ですか。(複数回答)



(n=47)

- シニア層宿泊客の宿泊に当たって配慮していることについて、「テーブル席の用意」と回答した施設の割合が最も高く、31.9%となっています。次いで、「アクセスしやすい客室の提供」(27.7%)、「ベッド客室の用意」(25.5%)と続いています。

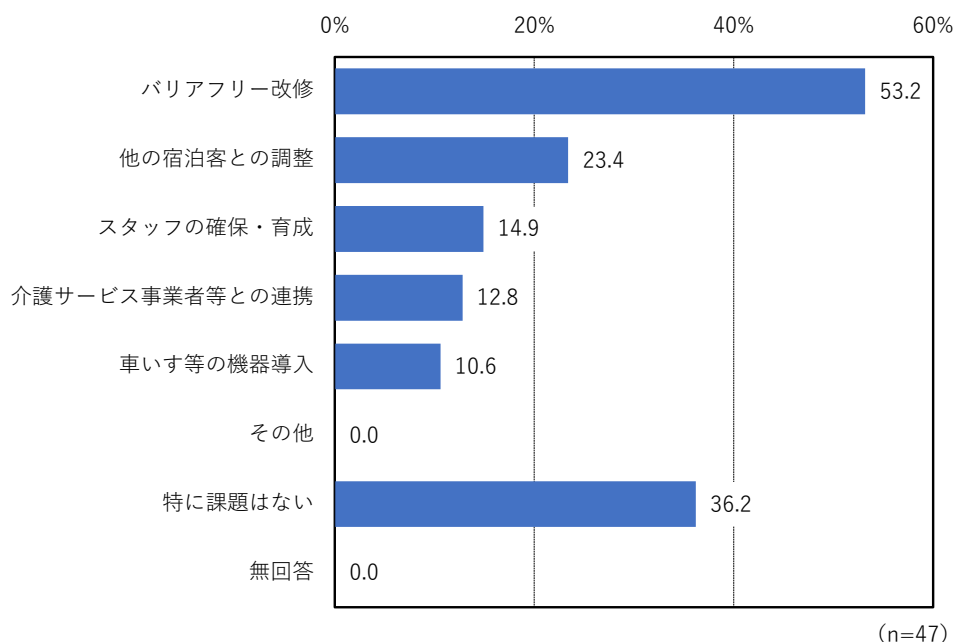
問9 シニア層宿泊客から実際に多いと感じる要望は何ですか。(複数回答)



(n=47)

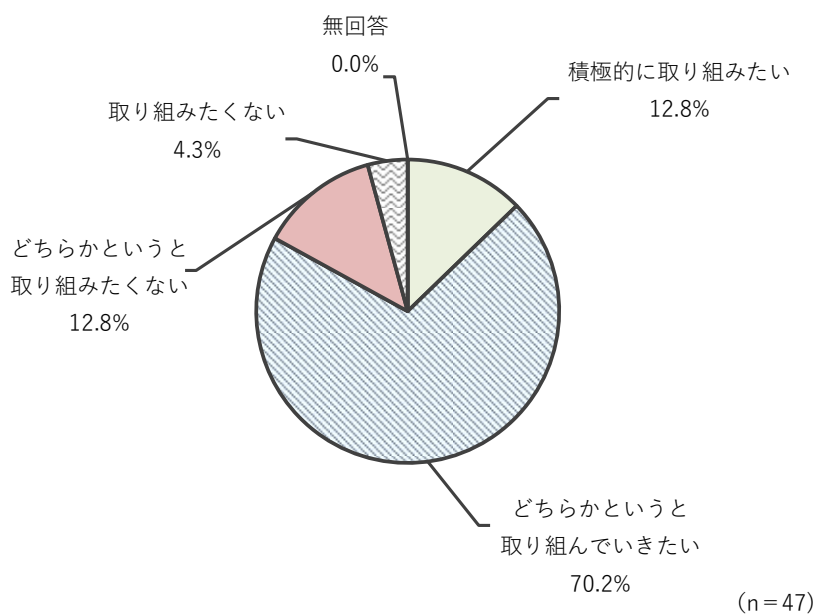
- シニア層宿泊客から実際に多いと感じる要望について、「特に要望はない」と回答した割合は42.6%となっています。これを除く57.4%はシニア層宿泊客からの多いと感じる何らかの要望があると回答しています。その要望として、「食事の量や内容の変更」「ベッド客室の利用」と回答した施設の割合が最も高く、ともに23.4%となっています。次いで、「タクシー等の手配」(21.3%)、「テーブル席の利用」(19.1%)と続いています。

問 10 シニア層宿泊客への対応に当たって課題となっていることは何ですか。(複数回答)



●シニア層宿泊客への対応に当たって課題となっていることについて、「特に課題はない」と回答した割合は 36.2%となっています。これを除く 63.8%はシニア層宿泊客への対応に当たって何らかの課題があると回答しています。その内容として、「バリアフリー改修」と回答した施設の割合が最も高く、53.2%となっています。次いで、「他の宿泊客との調整」(23.4%)、「スタッフの確保・育成」(14.9%)と続いています。

問 11 今後、シニア層が不安なく宿泊できるような施設設備・サービスの充実に取り組んでいきたいですか。(単数回答)



●今後、シニア層が不安なく宿泊できるような施設設備・サービスの充実に取り組んでいきたいかについて、「どちらかというに取り組んでいきたい」と回答した施設の割合が最も高く、70.2%となっています。次いで、「積極的に取り組みたい」「どちらかという取り組みたくない」(ともに12.8%)、「取り組みたくない」(4.3%)と続いています。

問12 今後、高齢化が一層進行する中、より多くのシニア層が宿泊しやすい環境づくりを推進するために必要なことについて、ご意見等がありましたらご記入ください。

- バリアフリー化の整備について、資金などが必要になる。 (松山市,旅館営業)
- お金さえ有れば、改修工事したい シニア層も大事にしたい。 (今治市,簡易宿所営業)
- 手すり等を増やしたい。 (今治市,旅館営業)
- どこまでの対応ができ、どこからの対応が出来ないのかの線引きを明確にし、シニア層が予約する際の参考情報として明記することで、お客様と宿泊施設の間でのミスマッチが減るのかなと思う。 (松山市,ホテル営業)
- バリアフリー等の設備は必要だと思うが、改修費用を考えると難しい。 (松山市,簡易宿所営業)
- 完全バリアフリーは無理なので、やれる事をやって行く。特に旅行をしようとするシニアは元気な方が多く、今のところ問題は少ないし、荷物を持つなど特別扱いを嫌う方が目立つ。更に高齢化が進む時、こちらもニーズに合わせて変化していくつもりである。 (西予市,簡易宿所営業)
- 自治体の補助 (松山市,ホテル営業)
- 設備改修の補助金 (松山市,ホテル営業)
- 近隣の医療機関との提携の促進 (伊予市,ホテル営業)
- 改装費用が高額過ぎて対応出来ません。 (松山市,旅館営業)
- 現在、介助の必要なお客様は殆ど来られてなく、イメージしづらいですが、介助の必要の方が日常的に来られるのであれば、資格を持った人の雇用が必要になると思います。 (松山市,ホテル営業)
- うちが公共なのでやりたくても予算が…と言われるので、まずその考え方が変わらない限り中々前に進みません。 (上島町,ホテル営業)
- シニア層が利用しやすくなるために必要な物や器具などの案内や、指導 地域の業者への手配の仕方、補助金などの案内、施設側への推進や指導などが必要。 (今治市,簡易宿所営業)
- 高齢化を踏まえ、改修費用の補助金制度があれば、出来ることから整備していく施設があると思う。 (大洲市,ホテル営業)
- 高齢化社会を踏まえ、改修費用に対する補助金制度があれば、今後において、出来ることから整備していく施設があると思う。 (大洲市,ホテル営業)